



このまち思いエネルギー。

広島ガス

Thanks,

110th

広島ガスCSR報告書 2019

持続可能な社会をみつめて…



CONTENTS

発行にあたって	1
CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
トピックス 1 広島ガスグループ 2030年ビジョンの策定	5
トピックス 2 西日本豪雨災害 復旧・ボランティア活動	5
トピックス 3 廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業	6
トピックス 4 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	6
〈経営分野〉	
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	10
防災対策への取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
中期経営計画	15
連結財務データ	17
〈環境分野〉	
環境保全活動の基本的な考え方	21
① お客さま先での環境負荷の低減	23
② 事業活動における環境負荷の低減	25
③ 地域環境保全への貢献	27
環境負荷低減フロー（2018年度実績）	28
環境目標および実績	29
環境会計	30
〈社会分野〉	
地域社会との関わり （芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）	31
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	34
求める人材像 「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」	35
働きやすい職場環境をめざして	36
労働安全衛生の取り組み	37
CSR報告書2019によせて	38
広島ガスの概要	39
広島ガスグループの概要	40

1909年の創立以来、
炎が創る豊かで快適な暮らしを
ご提案しています。



ガス燈 広島県広島市「灯和の径」

広島ガスCSR報告書2019

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2003年度には社会的側面も報告対象とし、2005年度から、新たに表題を「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

【報告対象】

【範囲】広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】2018年4月から2019年3月までの活動（一部、2019年度の実績を含む）。
本誌電子版および広島ガスグループ（主要子会社）の環境データをWebで公開しています。
(http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」であるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現に向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

経営理念体系

◎経営理念

地域社会から信頼される会社をめざす

◎企業スローガン

このまち **思い** エネルギー。

◎広島ガスグループ2030年ビジョン(ビジョンスローガン)

幸せにつながる感動発信

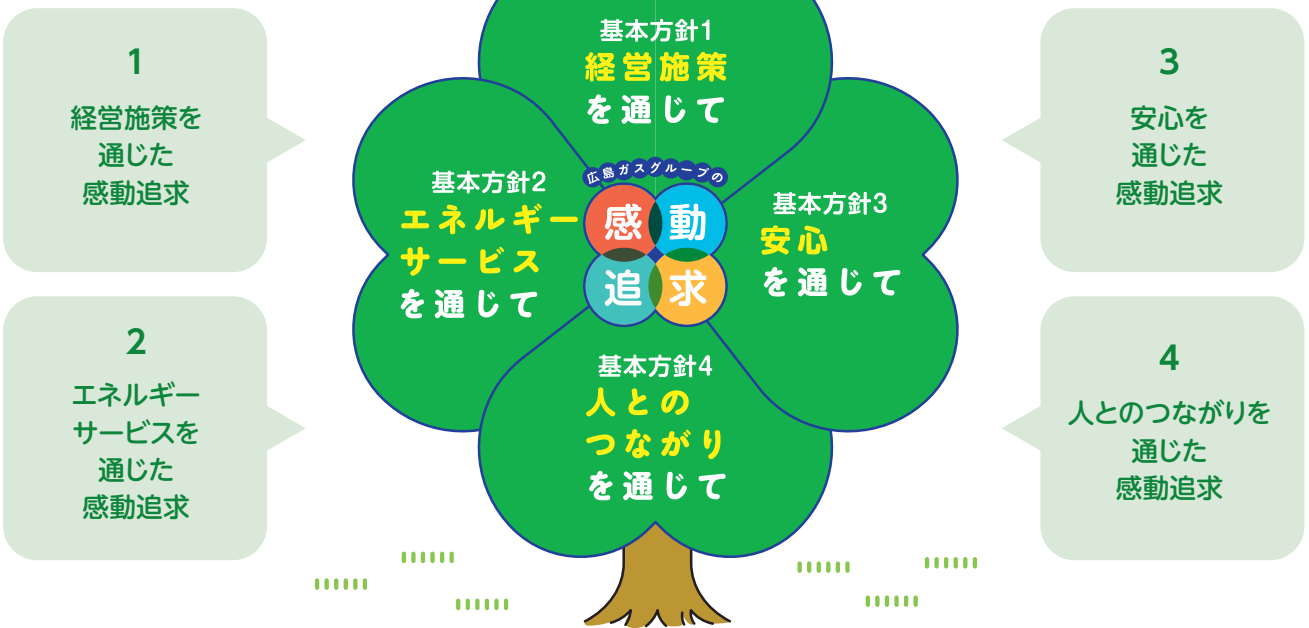
◎行動指針

広島ガスグループ行動宣言
広島ガスグループ社員行動指針

2030年ビジョンスローガンに込めた3つの思い

- ① 地域社会と共に発展する
企業グループ
- ② このまち思いエネルギー。
- ③ 共感して頂ける感動を
追求し発信

2030年ビジョン基本方針



2030年ビジョン基本戦略

—— チャレンジ 1 ——

総合エネルギー事業の拡大で、地域社会の元気を支えます。

—— チャレンジ 2 ——

環境貢献につながる事業展開と、次世代エネルギーの研究に取り組みます。

—— チャレンジ 3 ——

デジタル技術の活用で、社会や暮らしに生きる高付加価値を創造します。

—— チャレンジ 4 ——

人を育て、地域の力となるプロフェッショナル集団になります。

—— チャレンジ 5 ——

常に安心安全を課題に、「もっとできること」を追求・実現します。

—— チャレンジ 6 ——

地域の皆さまと共に「理想のまちづくり」をお手伝いします。

これからもエネルギーの安定的かつ安全な供給とともに、天然ガス普及拡大と社会貢献活動を的確・迅速に推進してまいります。

はじめに

広島ガスは、1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、ガス体エネルギーの供給を通じて、地域の皆さまの豊かな暮らしを支えることで社会に貢献してまいりました。2019年10月に創立110周年という一つの節目を迎えるにあたり、これまで当社グループを支えてくださった皆さまに改めて感謝申し上げます。

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことと考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

「広島ガスグループ2030年ビジョン」に込めた思い

当社グループは、2018年10月に新たな経営ビジョン「広島ガスグループ2030年ビジョン」を策定しました。

頻発する自然災害やガス小売全面自由化の開始など経営環境が急速に変化していく中で、広島ガスグループとしての将来のエネルギー事業の方向性について示したものであり、スローガンとして「幸せにつながる感動発信」を掲げています。このスローガンには、広島ガスグループの永続的な発展に向けた三つの思いが込められています。

1つ目は、「地域社会と共に発展する企業グループ」です。エネルギー事業者として、地域社会から支持されなければ事業は成り立ちません。今まで以上に、地域社会から支持されるために、広島ガスグループとして、より信頼される経営を推進してまいります。

2つ目は、企業スローガンでもある「このまち思いエネルギー。」です。「このまち」とは、広島に限定したのではなく、広島ガスグループとして、2030年ビジョンで描く、新たな事業エリアにおいても、「このまち」の定義は成立します。広島ガスグループが事業展開するエリアすべてを「このまち」と定義し、事業展開を図ってまいります。

3つ目は、「共感して頂ける感動を追求し発信」することです。共感する、好感が持てる、だから継続して使いたい、買いたい、利用したいといった思いを抱いていただける好循環につながる感動を追求し、それを発信、具現化していきます。お客さまニーズが多様化していく中で、各企業間におけるサービス競争はますます激しさを増しています。サービスを提供することは、特別なことでない時代に、広島ガスグループとして、あらゆる経営施策において、お客さまの想像を超え、「さすが広島ガスグループだね」と感じていただける、すなわち、「共感して頂ける感動」を追求し、発信していくことで、広島ガスグループのファン拡大へつなげていきます。

環境にやさしく快適な暮らしを

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「高効率機器の拡販やスマートコミュニティ事業への参画をはじめとしたエネルギーの高度利用」を基軸とした事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

業務用市場においては、CO₂の排出が少なく、環境にやさしい天然ガスを選んでいただけるように省エネ提案等、種々の提案活動を行っております。今後も引き続き、分散型熱電併給システムであるガスコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などの普及促進を通じて、省エネルギーや省CO₂に加え、エネルギーセキュリティの向上やピーク時における電力負荷の削減に寄与してまいります。

家庭用市場においては、省エネ性・環境性に優れた家庭用燃料電池「エネファーム」の一層の普及拡大を図ってまいります。2019年4月からは中国地方の都市ガス事業者では初となる家庭用燃料電池の余剰電力買取サービスを開始しており、発電した電気を社会全体で活用いただくことができます。今後も省エネルギーで環境にやさしいエネルギーシステムの普及促進に取り組むとともに、サービスの向上に努め、お客さまの快適な暮らしの実現とエネルギーの高度利用に貢献してまいります。

海田地区でのバイオマス混焼発電事業については、2021年3月の運転開始をめざして建設工事を安全かつ着実に進めていきます。本事業を通じて、再生可能エネルギーの普及拡大やCO₂の削減に貢献するとともに、広島県内の未利用木材を積極的に活用することで、エネルギーの地産地消を行い、地域経済の活性化に寄与してまいります。

安定供給と保安の確保

大きな変化の過渡期にある中でも私たち地域のエネルギー供給を担う事業者には課せられた、「保安の維持・向上と安定供給の確保」という使命は決して変わることはありません。

製造インフラにおいては、2016年2月からは大型の標準LNG船による原料の受け入れを開始し、今後もスケールメリットを活かした原料輸送コストの低減を図るとともに、原料の調達先についても多様化を進めてまいります。加えて、当社初の海外拠点となるシンガポール事務所においては、エネルギー関連市場や当社が所有するLNG船の有効活用に向けた情報収集を行っています。引き続き、LNGの安定的な供給の継続に加えて、より安価な天然ガスをお客さまにお届けできるように努めてまいります。

供給インフラにおいても、天然ガスの普及拡大と供給安定性の向上を図るとともに、ガス販売量の増大に対応するため、高圧幹線である広島湾岸幹線新設工事や、東広島市等におけるパイプライン延伸工事を行っています。

保安の確保においては、ハード面では、耐震性の高いガス管であるポリエチレン(PE)管への取り替え、ガスの遮断と復旧を効率的かつ効果的に行うための導管網の小ブロック化の推進を図り、ソフト面では、人材育成の充実、緊急措置訓練、技能競技大会などを通じて、現場力の強化を推進しています。

災害対策についても、2017年に完成した防災センタービルを発災時の対応拠点とし、緊急対策・復旧対策の迅速化を図ってまいります。

さらなるインフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード、ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みの強化を進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

「このまち思い」な企業として

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。2030年ビジョンで示した「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」といった三つの新たな活動



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

の枠組みに基づく社会貢献活動を通じて、地域の活性化・発展の一助を担っていきたく考えています。

社内においても、コンプライアンス意識の徹底、リスクマネジメントの強化、広島ガスグループ会社間の人材交流の実施や風通しの良い職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。併せて、社員全員が、「広島ガスグループの社員であることに「自信と誇り」を持てる会社」をめざし、個々の「人間力」を高めてまいります。

広島ガスグループでは、引き続き役職員一丸となって、業務に精励し、「地域の好感度NO.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、広島ガスグループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2019年7月

トピックス 1 広島ガスグループ 2030年ビジョンの策定

広島ガスグループは、2030年に向けた新たな「広島ガスグループのあるべき姿」を描いた経営ビジョン『2030年ビジョン』を策定いたしました。経営理念である、「地域社会から信頼される会社をめざす」を念頭に、スローガンに込めた3つの思いを胸に刻み、すべてのステークホルダーの皆さまの「笑顔」と「幸せ」につながる未来を創造していくための事業経営を推進してまいります。

1 広島ガスグループ 2030年ビジョンスローガン

幸せにつながる感動発信

《スローガンに込めた3つの思い》

- (1) 地域社会と共に発展する企業グループ
- (2) このまち思いエネルギー。
- (3) 共感して頂ける感動を追求し発信



2 2030年ビジョン基本方針

基本方針 1 経営施策を通じた感動追求

- ◎経営理念に基づいた事業活動の展開
- ◎企業の社会的責任(CSR)

基本方針 2 エネルギーサービスを通じた感動追求

- ◎お客さまニーズの多様化によるサービス競争への対応
- ◎エネルギーサービスの追求

基本方針 3 安心を通じた感動追求

- ◎地域社会の皆さまが日頃から安心して生活頂ける環境整備
- ◎提供するエネルギーやサービスに対しての安心

基本方針 4 人とのつながりを通じた感動追求

- ◎広島ガスグループの強みを生かした事業展開
- ◎人材育成と従業員価値の向上

3 2030年度経営目標

「広島ガスグループは、連結経常利益70億円規模の企業グループに成長する。」 ※2017年度実績(約35億円)の2倍程度。

トピックス 2 西日本豪雨災害 復旧・ボランティア活動

2018年7月5日、6日の豪雨により、中国・四国地方を中心とした広い範囲で土砂崩れや河川の氾濫が発生し、各地で甚大な被害が相次ぎました。当社製造・供給設備に、お客さまへのガス供給に大きく影響する被害はありませんでした。

災害地区のガス工事では、土砂崩れにより車道に流れ込んだ土砂の撤去作業も行い、交通の開放に尽力しました。また、被災地復旧にむけて、計169名の役職員がボランティア休暇制度などを活用して、ボランティア活動に参加しました。



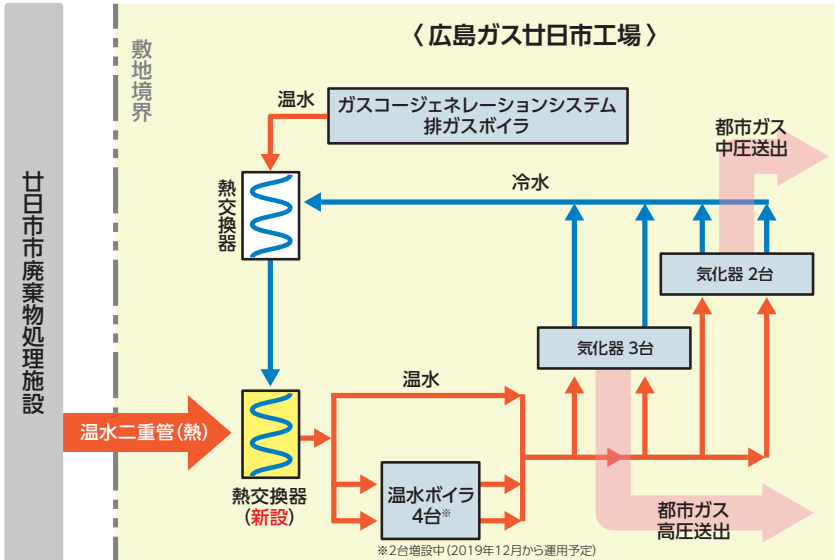
土砂の撤去作業



ボランティア活動

トピックス 3 廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業

2019年4月から、廿日市工場の西側隣地に新たに建設された廿日市市廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)から廿日市工場への熱供給を開始しました。隣地からの未利用熱を供給してもらうことで、LNG気化器の熱源発生設備である温水ボイラの稼働を減らすことができ、省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)における成績向上につながります。近隣事業所同士で熱を融通することによって、地域での環境負荷低減に貢献しています。



廿日市工場熱交換器



温水二重管設置工事

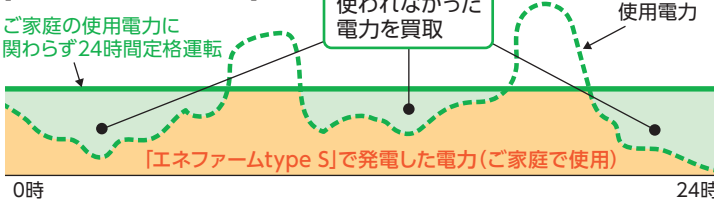
トピックス 4 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

発電余剰電力の買取

2019年4月から広島ガスでは、「エネファームtype S」の発電余剰電力の買取を小売電気事業者である三井物産㈱と共同で開始しました。

【余剰電力を買取する場合】



使用電力に関わらず、24時間定格運転(700W)を行います。使用電力が少ない時間帯は、発電した電力がご家庭の使用電力を上回ります。発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電力は、広島ガスが買い取ります。

エネファームの種類

2016年4月から、「エネファームtype S」の販売を本格化しました。バリエーションが増えたことにより、さらに多くのお客さまにお使いいただけるようになっています。

【「エネファームtype S」と「エネファーム」の比較】

	エネファーム type S	エネファーム
作動温度	約700℃~750℃	約60℃~80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	46.9% (52.0%)*	36.1% (40.0%)*
備考	電気の使用量の割合が多いお客さま向け	お湯の使用量の割合が多いお客さま向け

※()内の数値は、LHV(低位発熱量)基準です。

エネファームの補助金(2019年度)

国	補助金(定額)		追加補助額
	基準価格以下	基準価格を上回り裾切価格以下	
地方自治体	固体高分子形(PEFC)	8万円	+3万円
	固体酸化物形(SOFC)	4万円	

※追加補助は、裾切価格以下の価格で販売された機器のみ対象。

募集期間: 2019年4月8日~2020年2月21日

*詳細は(一社)燃料電池普及促進協会(FCA)のホームページをご参照ください。

▶▶▶ エネファームとは

エネファームは、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~1.5t抑えるエネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。2009年の販売開始以来、新築住宅・既存住宅のお客さまに導入いただいた結果、累計販売台数は2,269台(2019年3月31日現在)となりました。今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献していきます。

	補助金額	募集期間
広島市	3万円/台 × 350台	2019年4月15日~2020年1月31日
呉市	5万円/台 × 30台	2019年4月 8日~2020年2月21日
三原市	7万円/台 × 20台	2019年4月 8日~2020年2月21日
東広島市	15万円/台 × 20台 ※HEMS(ホームエネルギー マネジメントシステム)設置必須	2019年5月 7日~2020年2月28日
廿日市市	7万円以内(総額300万円)	2019年4月15日~2020年1月31日

*詳細は各市のホームページをご参照ください。

*補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切りとなります。

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めていきます。

▶ 都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送

都市ガスの製造

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却(約-160℃)・液化し、LNG(液化天然ガス)として輸送



ロシア・プリゴロドノエ基地

[天然ガス採掘]

[LNG船]



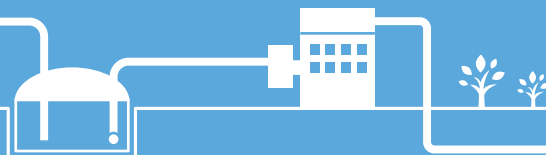
LNGは、LNG貯槽に受け入れ、需要量に応じて気化した後、熱量調整などを行い、都市ガスとして送出



廿日市工場

[ピットイン式LNG貯槽]

[LNG気化器]



▶ 供給区域と体制

(2019年3月31日現在)

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数

412千戸

広島地区

お客さま戸数

348千戸



可部基地



東広島製造所



本社



海田基地

東広島製造所

海田基地

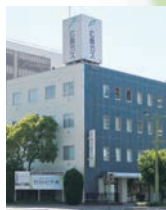
呉地区

お客さま戸数

47千戸



廿日市工場



呉支店



熊野基地

都市ガスの供給

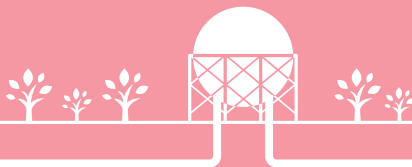
お客さま先で

地中に埋設した5,169kmの導管(本支管・供給管)を通じて、お客さま先まで供給



ガス管橋

【ガスホルダー】



お届けした都市ガスは、さまざまな用途でご使用



工場など

【工業用】



ホテル・ビル・学校など

【商業用】



厨房・給湯など

【家庭用】



広島県



備後工場

卸供給 (広島ガス)

連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用した卸供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エルエヌジー(株))

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

福山ガス(株)

備後工場

尾道支店

尾道・三原地区

お客さま戸数

17千戸



尾道支店

凡例

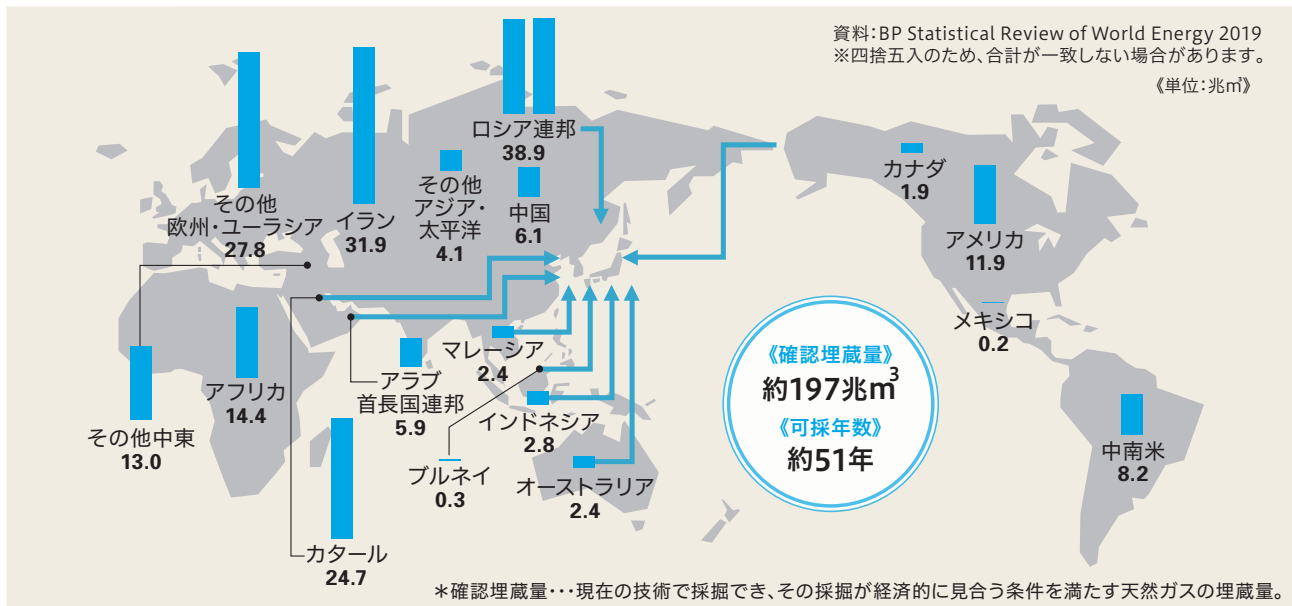
供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地	
幹線 (広島ガス)		検討中幹線	
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	

都市ガスの安定供給への取り組み

都市ガスは、電気・水道と並び、地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNG(液化天然ガス)の調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動きなどを注視しながら、さまざまな施策を講じています。

▶ 都市ガスの原料

▶▶▶ 天然ガス確認埋蔵量(在来型ガス)

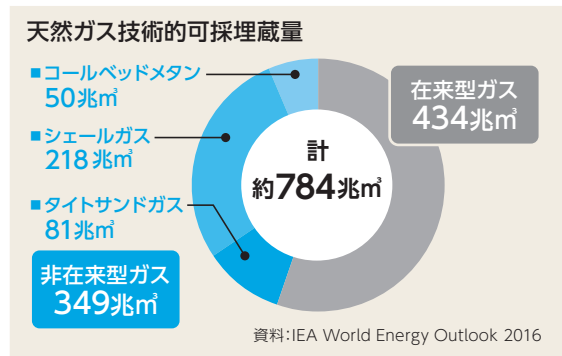


▶▶▶ 在来+非在来型天然ガス回収可能な埋蔵量

天然ガスは、世界に広く存在し、日本はLNG船でさまざまな国から輸入しています。

技術の向上によって従来は採掘困難であった、シェールガス、コールベッドメタン、タイトサンドガスといった非在来型天然ガスが産出可能となり、安定した供給が見込まれています。また、2017年からアメリカ合衆国産シェールガスの日本への輸入が始まっています。

さらに、日本の近海には、日本の年間消費量の約100年分に相当するメタンハイドレートが存在しており、政府主導による開発が進められています。



▶ LNG安定調達に向けた取り組み

▶▶▶ LNG調達先の多様化

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、広島ガスにおいても都市ガスの需要増に対応するため、LNG調達先の多様化を図っています。2016年以降のLNG調達は、サハリン(ロシア)、大阪ガス(株)、マレーシアからLNG売買契約に基づき、年間約40万トンのLNGの調達が可能となっています。

また、広島ガス初の海外拠点となるシンガポール事務所を活用したシンガポールおよび周辺諸国でのエネルギー関連市場の情報収集などを通じて、将来のLNGの安定調達などに努めていきます。

【2016年以降のLNG調達】

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス(株)	約5～13万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2026年3月
合計	約40万t	※年度により変動

▶▶▶ 中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力(株)と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

お客様の安心・安全に向けた取り組み

▶ 製造段階での保安

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNG（液化天然ガス）の受け入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室



廿日市消防本部との合同訓練



緊急時対応技能コンクール

▶ 供給段階での保安

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客さまのもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整えています。



保安指令センター



保安車両



ガス管工事

▶ 消費段階での保安

お客さまに安全にガスをご使用いただくために、ガス設備安全点検を行うほか、消費機器を正しく、安全に使用方法を記載したガイドブックを配布するなど、さまざまな保安活動に取り組んでいます。



ガス設備安全点検



ガスライフ安心ガイドブック

防災対策への取り組み

地震災害時などに備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。

▶ 地震防災対策3つの柱

いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」、「緊急対策」、「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

■ 設備対策

地震による被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまで、さまざまな対策を実施しています。

《 LNG貯槽 》



貯槽タンクは地下に構築した外壁の厚さが2m以上のコンクリートピット内に据え付けられ、内部のLNG液面は地表よりも低く、万一の場合でも地上に漏れ出すことはありません。

《 高圧・中圧導管 》



高い圧力のガスを輸送する導管には、耐震性に優れ、大きな地盤変動にも耐える「溶接接合鋼管」を使用しています。

《 ガスホルダー 》



基礎部分は地中深くの支持地盤まで杭が打ち込まれています。その基礎上に支柱と球体を設置し、大規模地震にも耐えられるよう設計・施工しています。

《 低圧導管 》



お客さまのご家庭にガスをお届けする導管には、耐震性、耐腐食性に優れた「ポリエチレン（PE）管」などを使用しています。なお、ポリエチレン管は一部の中圧導管でも使用しています。

■ 緊急対策

地震が発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域（ブロック）ごとにガスの供給を停止します。

【ブロック化】

被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

また現在、ブロックをさらに細分化した小ブロック化を推進しています。2020年度をめどに現在の26ブロックを44ブロックにする計画です。



【マイコンメーター】



ガス使用中に震度5程度以上の地震を感知すると、マイコンメーターの安全装置が作動し、お客さま宅のガス供給を自動的に遮断します。当社では、例外を除き、マイコンメーターを100%設置しています。

復旧対策

やむを得ずガスの供給を停止した場合、1日も早い「ガスの復旧」に向けた作業を以下の手順で行います。

復旧作業の手順

供給停止

メーターガス栓の閉止

お客さま宅のメーターガス栓を閉止します。

埋設ガス管の点検・修理

道路に埋設してあるガス管の点検・修理をします。

お客さま宅内の点検・修理

お客さま宅のガス管・ガス機器・給排気設備などの点検・修理をします。

お客さま宅のガスの使用開始

お客さまの立ち会いで検査を行った後、ガスの使用を開始します。

【移動式ガス発生設備による臨時供給】

ガスの供給が再開するまで、移動式ガス発生設備により、病院などの社会的重要度の高い施設や、導管復旧に時間を要するお客さまに対しガスを臨時に供給します。



カードル車



個別供給

▶ 都市ガス事業者の応援体制

大規模な災害発生によりガスの供給が停止する場合などには、全国の都市ガス事業者は、(一社)日本ガス協会を通じて、復旧作業にあたる要員や資機材などを相互に協力しあう体制を確立しています。2018年6月に発生した大阪北部地震においては、当社グループ・協力会社からの128名を含む、総勢約5,100名体制で、一日も早いガスの供給再開に向けて復旧作業にあたりました。



復旧応援隊出発の様子

▶ 広島ガス防災センタービル



日常のみならず大規模災害発生時にも都市ガスの供給保安機能を堅持する防災拠点として、本社構内に広島ガス防災センタービルを建設し、2018年5月から運用を開始しています。本ビルは、災害対策本部をはじめ保安指令センターなどの供給保安機能を集約することにより、災害発生時における復旧対応の迅速化を図っています。

また、震度7クラスの地震にも耐えうる免震構造を採用するとともに、2階以上に事務所機能や空調・電気設備などを配置することで、地震災害のみならず津波など浸水災害発生時における事業の継続、供給保安の確保に努めています。



保安指令センター



免震装置(柱頭免震構造)

▶ 保安対策の取り組み

工事品質や保安レベルの維持・向上のため、「保安技能大会」などを開催しています。また、毎年、大規模地震を想定した全社による総合防災訓練(初動対応、復旧計画の立案など)を実施しています。こうした取り組みを推進し、さらなる保安レベル・現場力の向上をめざしています。



保安技能大会



総合防災訓練
(広島ガス防災センタービル 災害対策本部会議室)

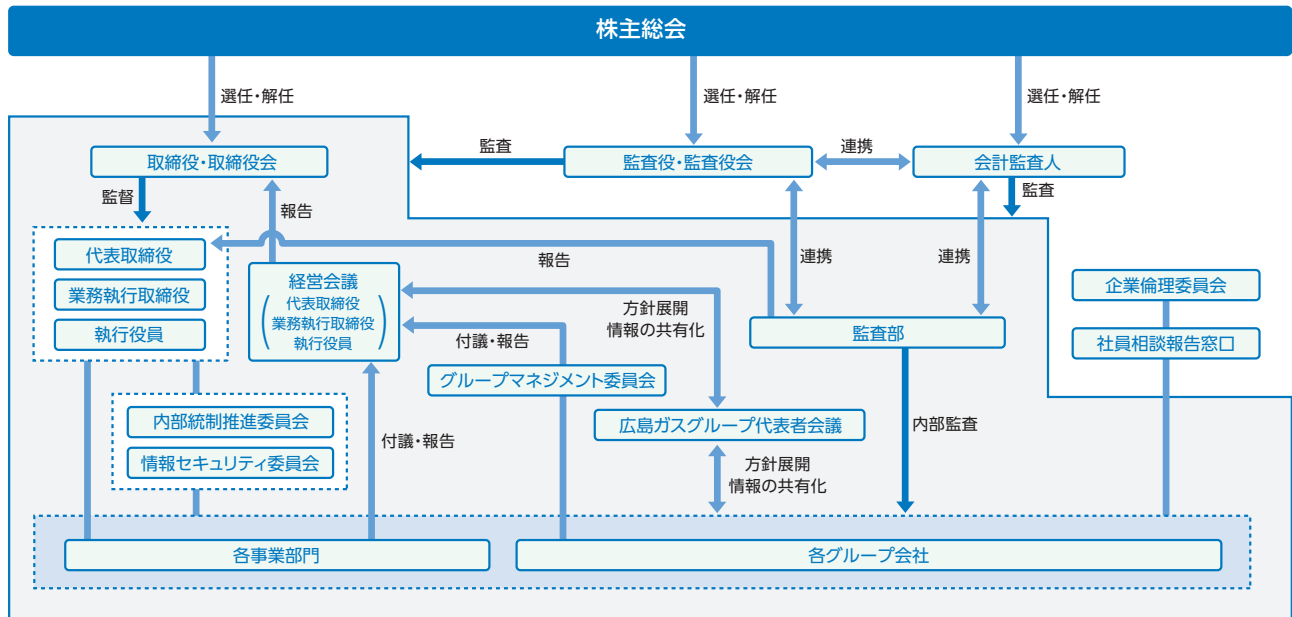
広島ガスグループの経営体制

▶ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

≫ 健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

≫ コーポレート・ガバナンス体制[概略図]



≫ 経営組織の構造

経営管理体制

取締役会は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役および執行役員の業務執行状況を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

経営会議は、取締役兼任執行役員6名、常勤監査役2名、執行役員8名で構成され、原則として月2回、また必要に応じて開催し、経営にかかる重要な事項について協議・決定しています。また、グループマネジメント委員会からグループ会社の業務の執行状況および経営状況の報告を受け、グループ各社の経営の監督を行っています。

2019年6月25日現在

監査体制

監査役会は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画などに基づき実施する調査や取締役会などの重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の職務の執行を監査しています。また、子会社については、必要に応じて子会社から事業の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部は年間監査計画などにに基づき、業務活動が法令、内部規程などに則り適正かつ効率的に実施されているか監査し、その結果を社長、監査役および総務部などに報告するとともに、社内組織に助言・勧告を行っています。

また、監査役、会計監査人および監査部は、監査方針および監査報告などについて定期的に会合を持ち、意見交換などを行うことにより、相互の連携を高めています。

2019年6月25日現在

▶ 内部統制

≫ 内部統制システムの構築に関する基本方針

広島ガスグループの事業は、都市ガスおよびLPガスのベストミックスによる、安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする、極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員などのすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、「内部統制制度の方針」を策定し、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

▶ 広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、右図のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、広島ガスグループ役職員が法令や社会的規範を遵守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。

▶▶▶ 行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範(各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」など)を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

▶▶▶ 継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反などを許さない企業風土を醸成しています。さらに、イントラネットを利用した「内部統制掲示板」や「グループ広報誌(GASLAND)」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布など、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

▶▶▶ 推進体制

リスクマネジメント・コンプライアンス推進に向けて、内部統制推進委員会やグループマネジメント委員会を設置するとともに、総務部が各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。また、社長および2名の社外弁護士からなる企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議する体制を整備するとともに、広島ガスグループの社員が、直接、企業倫理委員会の委員などに相談・報告することができる「社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

▶▶▶ 各種リスクへの対応

【自然災害などによるリスクへの対応】

ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害などによるリスクに対しては、あらかじめ規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制などを整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

【情報漏洩などによるリスクへの対応】

情報漏洩などによるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報の取り扱いに関する社内啓蒙活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示などのあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

【業務遂行上に発生するリスクへの対応】

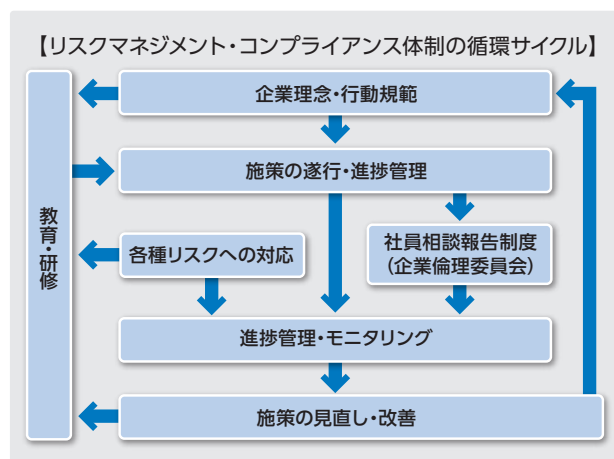
業務遂行上に発生するリスクに対しては、部門ごとにリスクを識別・分析・評価し、対策案を作成・実施することにより、リスク発生の未然防止を図っています。また、リスク発生時には、総務部や内部統制推進委員会が中心となって、迅速な問題解決を図るとともに、リスク発生要因などを分析し、再発防止を図っています。

▶▶▶ モニタリング体制

グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動(自己統制評価活動)への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

▶▶▶ グループ各社との連携

「グループ人事交流方針」を策定し、この方針に基づいたグループ各社間での人事交流を実施することにより、リスクマネジメントや連携の強化を図っています。また、グループ各社への監督機能の強化を図るため、グループマネジメント委員会を設置し、グループ各社より「広島ガスグループ会社運用規程」に基づいて上程される業務執行に関する事案について事前に審議を行うなど、リスク発生の未然防止を図っています。



中期経営計画

2018年10月に公表した「広島ガスグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、2019～2021年度 広島ガスグループ中期経営計画では、エネルギー市場の自由化等の環境変化を好機と捉え、エネルギー基本計画を踏まえたグループ戦略を推進していきます。

広島ガスグループ2030年ビジョン

2019～2021年度 広島ガスグループ中期経営計画

▶ 基本方針

① 総合エネルギー事業の更なる普及拡大を通じた、省エネ・省CO₂への貢献とエネルギーサービス周辺事業の強化による事業拡大を図る。

- ガス販売量の拡大
- グループ・他事業者との連携・拡大
- マーケティング強化によりお客さまニーズを反映した料金・サービスの検討・実施
- 低廉・安定かつフレキシビリティのある原料調達継続と更なる推進
- 製造・供給ネットワークの整備・増強
- 原料調達等の上流活動の強化
- ガス小売全面自由化への対応
- グループ最適体制の検討
- エネルギー供給周辺サービスの強化・充実を図り、お客さまのロイヤルティの向上と生涯価値の確保を追求
- 中四国ガス事業者での連携強化
- 業務提携先との提携強化・販売体制の検討
- 行政・関係各所とも連携し、総合エネルギー事業の普及拡大を通じて、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上に貢献
- シンガポール事務所を通じた海外事業展開の可能性について調査・推進

② 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じた、環境負荷低減に資する施策を推進する。

- 再生可能エネルギーの普及拡大
- 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ゼロエミッション実現に向けたエネルギーミックス
- 脱化石燃料の流れに対応した事業基盤の構築

③ デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることによって、新たな価値創造と業務効率化を推進する。

- ICTを活用した生産性の向上
- デジタルワークスペースの整備による新しい働き方の実現
- スマートデバイスを活用した業務効率化の推進
- デジタル技術の活用による人材育成と技能伝承の充実強化
- スマートメーターの普及、EMS等の先進技術の導入による魅力ある街づくりへの貢献
- IoT、AI技術の導入によるお客さまサービスの充実

④ グループ組織力の強化につながる創造性豊かな人材の育成と活用により、グループ総合力の向上を図る。

- 多様で柔軟な働き方が実現できる環境の整備
- やりがいや働きがいがある、魅力ある職場作り
- 生産性向上に向けた意識改革の推進
- お客さまの期待を超えるサービスの提供に向けた創造性豊かな人材の育成
- 教育・キャリア形成支援の強化
- 付加価値の高いプロ集団に向けた人材育成
- グループ・部門を越えたコミュニケーション向上支援による一体感の醸成
- グループとして成果を最大化できるグループ機能整理・連携強化
- コンプライアンス(法令遵守、企業倫理)に則った公正で透明性のある事業活動の推進
- 人権啓発活動、コミュニケーション活動の強化
- グループ全体での要員管理と人材交流の推進による機動的な要員配置、リスク管理および連携強化

⑤ 安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図る。

- 保安レベルの向上(経年導管の取り替え促進、広域保安、保安周知 等)
- 災害対策の強化(地域連携、防災投資 等)
- 安定供給の強化(原料調達、インフラ整備)

⑥ 社会貢献活動の推進を通じ、地域社会と共に発展する企業グループをめざす。

- 地域に根差したエネルギー供給を担う企業として、地域の活性化・発展に資する活動の推進
- 環境基本理念および環境行動指針に則った環境保全活動の推進(環境負荷の低減、お客さま先での省エネ・省CO₂実現への貢献、地域・社会と連携した環境啓発活動等)
- 新たな活動の枠組みによる活動推進
- 社会貢献活動の検証

⑦ グループ経営基盤の強化を図り、強靱な企業グループの構築と持続的な発展をめざす。

- 収益力、資本効率の向上に資する事業ポートフォリオの見直しや経営資源の適切な配分
- グループ機能再構築の推進
- 収益向上につながる組織機能の強化と経営効率化の推進

⑧ 地域社会からの信頼につながる経営を推進する。

- 社内外への適時・適切な情報開示(IR活動の展開・強化等)
- 事業活動および財務報告の適法・適正性確保に向けた内部統制への継続的な取り組み
- グループ経営管理、コーポレート・ガバナンスへの継続的な取り組み

▶ ガス需給計画

	実績		計画		
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	3年間平均伸び率
都市ガス(卸供給含む) [百万m ³]	583	606	627	635	2.5%
LPG [千t]	89	90	92	93	1.5%

※都市ガス(45MJ)

▶ 設備投資計画

	実績		計画		
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	3年間合計
広島ガスグループ [億円]	73	78	76	102	256

▶▶▶ 都市ガス事業

ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替等を計画的・効率的に行います。

▶▶▶ LPG事業

コミュニティーガス団地における経年劣化した導管をPE管等の耐震性の高い導管への取替を促進することや、お客さまの軒先でのシリンダー転倒防止等の保安対策を実施していきます。

▶ エネルギーセキュリティ向上への取り組み

安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図っていきます。

① 地域社会の皆さまが日頃から安心して生活頂ける環境整備

安定したエネルギー供給(原料調達・インフラ形成など)や防災対策および保安の高度化など、お客さまから「安心してご利用いただけるエネルギーやサービス」の提供を図ります。

② 提供するエネルギーサービスに対するの安心

お客さまが、広島ガスグループが提供するエネルギーやサービスに対して、不安を感じることなく安心してご利用いただくために、総合エネルギー事業の拡大をめざす中で、あらゆる「安心の備え」を図ります。

▶ エネルギー市場自由化対応

ガス小売全面自由化に対する取り組みとして、お客さまの新たなニーズに対応し、選択し続けていただけるよう、料金・サービス等の営業施策を検討・実施していきます。

お客さま向けサービスとして、「Web会員サイト(MY HIROSHIMA GAS)」「広ガスポイントサービス」「広ガスくらしサービス」を2017年から開始しております。これらのサービスを通じて、これからも選択され続けるようお客さまのご期待に応え、信頼関係を強固なものにしていくことをめざしていきます。新料金プランの展開としては、2018年7月から、保育所、学校、老人福祉施設を対象とした、「学びと長寿応援プラン」をスタートしています。

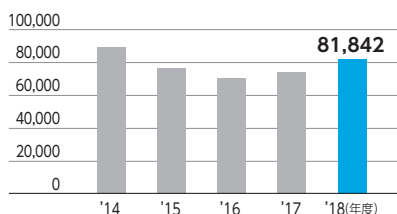
今後も、更なるサービス向上をめざし、新たなサービスメニューの充実について、引き続き検討し、地域の活性化に貢献していきます。

さらに、既存事業との相乗効果を図るべく、再生可能エネルギーなど、環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じ、総合エネルギー企業としての発展をめざしていきます。

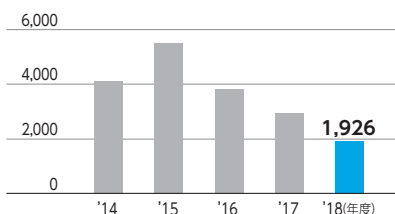
連結財務データ

① 主要数値

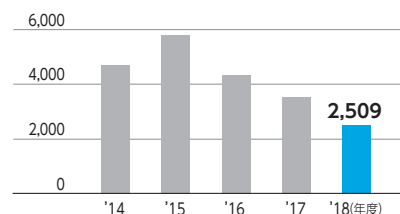
売上高 (百万円)



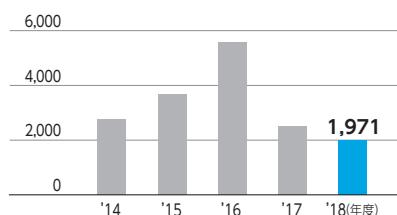
営業利益 (百万円)



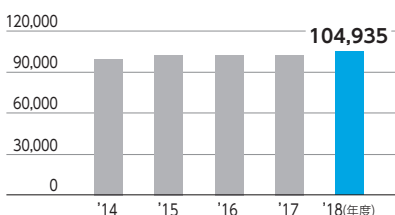
経常利益 (百万円)



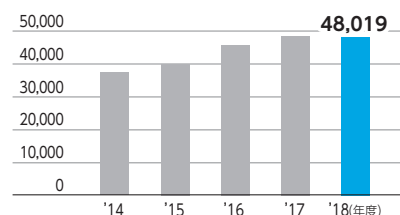
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



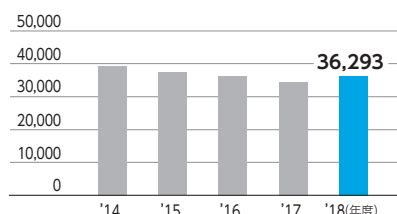
総資産 (百万円)



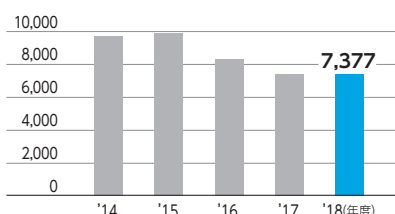
自己資本 (百万円)



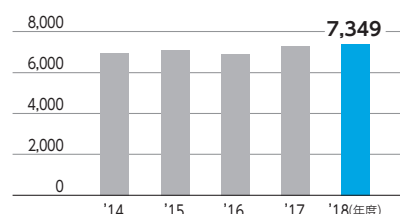
有利子負債 (百万円)



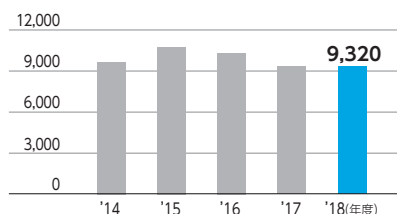
設備投資額 (百万円)



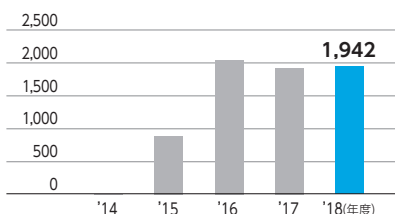
減価償却費 (百万円)



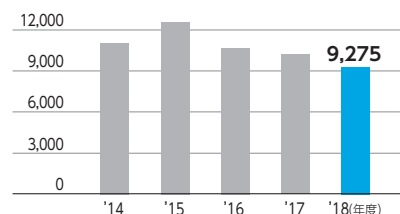
営業キャッシュフロー (百万円)



フリーキャッシュフロー (百万円)



EBITDA (百万円)



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842
営業利益	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926
経常利益	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509
親会社株主に帰属する当期純利益	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971
総資産	99,759	102,357	102,363	102,656	104,935
自己資本	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019
有利子負債	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293
設備投資額	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377
減価償却費	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349
営業キャッシュフロー	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320
フリーキャッシュフロー	4	887	2,045	1,918	1,942
EBITDA	11,036	12,567	10,670	10,190	9,275

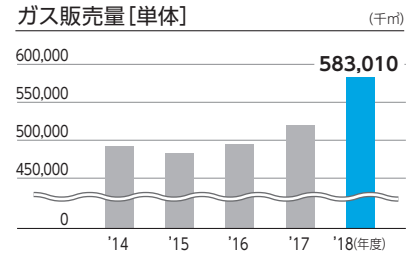
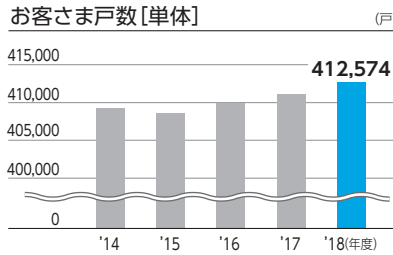
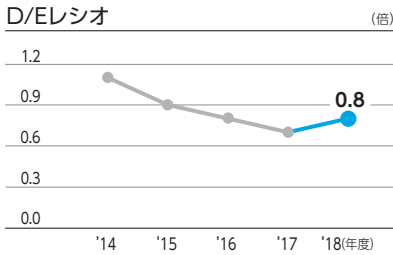
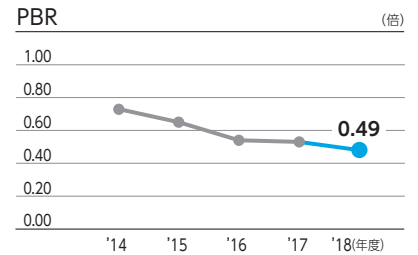
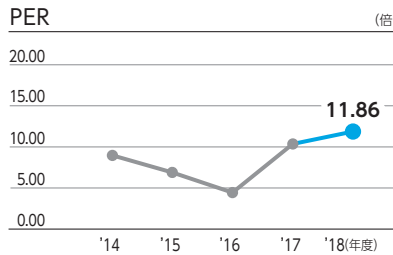
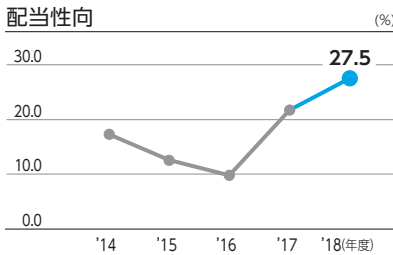
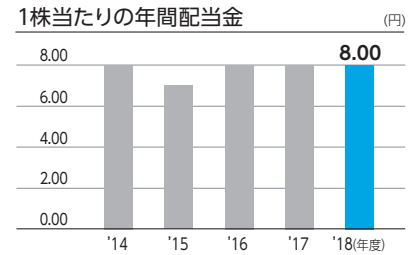
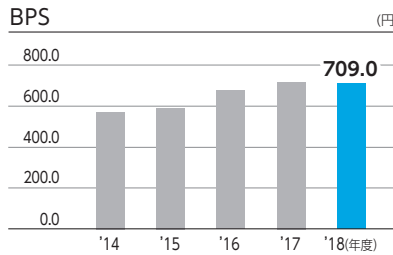
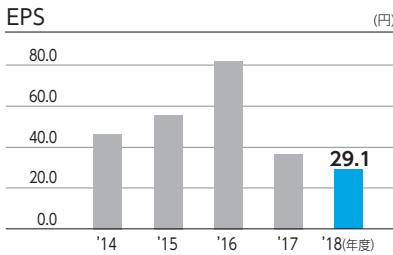
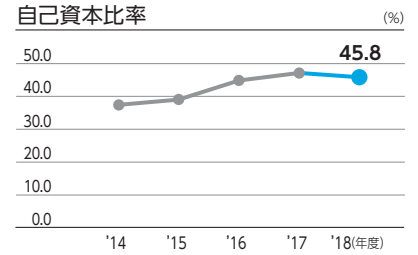
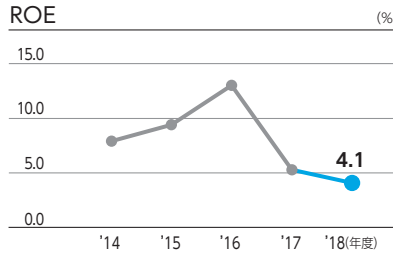
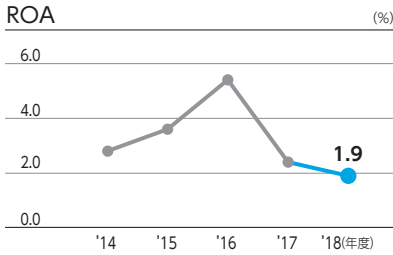
*2015年度より、「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更

*営業キャッシュフロー = 親会社株主に帰属する当期純利益 + 減価償却費 (注) 2016年度、2017年度はキャッシュを伴わない特別損益を加減

*フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 設備投資額 *EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

*「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2018年度の期首から適用しており、2017年度の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっている。

② 主要指標



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
ROA (%)	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9
ROE (%)	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1
自己資本比率 (%)	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8
EPS (円)	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1
BPS (円)	571.0	590.1	675.2	715.2	709.0
1株当たりの年間配当金 (円)	8.00	7.00	8.00	8.00	8.00
配当性向 (%)	17.3	12.6	9.8	21.7	27.5
PER (倍)	8.98	6.89	4.44	10.35	11.86
PBR (倍)	0.73	0.65	0.54	0.53	0.49
D/Eレシオ (倍)	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8
お客さま戸数 [単体] (戸)	409,185	408,490	409,881	411,080	412,574
ガス販売量 [単体] (千m³)	491,651	483,021	494,646	519,137	583,010

*ROA (総資産利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均総資産 × 100

*ROE (自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 平均自己資本 × 100 *自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産 × 100

*EPS (1株あたり当期純利益) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均株式数 *BPS (1株あたり純資産) = 純資産 ÷ 期末発行済株式数

*PER (株価収益率) = 期末株価 ÷ EPS *PBR (株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ BPS *D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

連結財務データ

③連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
[資産の部]		
固定資産	80,389	78,907
有形固定資産	62,942	63,012
製造設備	16,913	15,680
供給設備	30,212	31,994
業務設備	4,071	4,130
その他の設備	7,723	7,913
建設仮勘定	4,022	3,294
無形固定資産	1,119	988
投資その他の資産	16,327	14,906
投資有価証券	9,309	7,835
長期貸付金	50	4
繰延税金資産	1,455	1,951
その他投資	5,727	5,258
貸倒引当金	△ 214	△ 143
流動資産	22,267	26,028
現金及び預金	10,766	10,436
受取手形及び売掛金	6,485	8,029
商品及び製品	882	863
原材料及び貯蔵品	2,666	4,419
その他流動資産	1,508	2,304
貸倒引当金	△ 41	△ 25
資産合計	102,656	104,935

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
[負債の部]		
固定負債	31,930	38,546
社債	15,000	23,000
長期借入金	12,284	11,458
役員退職慰労引当金	416	337
ガスホルダー修繕引当金	358	365
保安対策引当金	638	600
器具保証引当金	194	280
退職給付に係る負債	2,574	2,082
資産除去債務	112	114
その他固定負債	350	307
流動負債	19,766	15,676
1年以内に期限到来の固定負債	6,924	1,623
支払手形及び買掛金	7,354	7,806
未払法人税等	805	330
その他流動負債	4,681	5,916
負債合計	51,696	54,223
[純資産の部]		
株主資本	46,262	47,756
資本金	5,181	5,181
資本剰余金	1,141	1,149
利益剰余金	40,102	41,529
自己株式	△ 162	△ 104
その他の包括利益累計額	2,069	263
その他有価証券評価差額金	2,782	1,700
繰延ヘッジ損益	3	△ 784
退職給付に係る調整累計額	△ 717	△ 651
非支配株主持分	2,628	2,693
純資産合計	50,960	50,712
負債純資産合計	102,656	104,935

④ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	73,717	81,842
売上原価	45,295	54,573
売上総利益	28,422	27,269
供給販売費及び一般管理費	25,501	25,342
供給販売費	19,668	19,965
一般管理費	5,832	5,376
営業利益	2,920	1,926
営業外収益	873	864
受取利息	4	3
受取配当金	177	186
持分法による投資利益	119	68
CNG販売収益	157	154
雑収入	414	451
営業外費用	288	281
支払利息	225	191
社債発行費償却	—	45
雑支出	62	43
経常利益	3,506	2,509
特別利益	449	484
退職給付制度改定益	449	—
投資有価証券売却益	—	484
税金等調整前当期純利益	3,955	2,994
法人税、住民税及び事業税	753	697
法人税等調整額	580	198
当期純利益	2,622	2,098
非支配株主に帰属する当期純利益	123	127
親会社株主に帰属する当期純利益	2,499	1,971

⑤ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
当期純利益	2,622	2,098
その他の包括利益	694	△ 1,806
その他有価証券評価差額金	230	△ 1,083
繰延ヘッジ損益	67	△ 788
退職給付に係る調整額	395	65
包括利益	3,316	292
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,193	165
非支配株主に係る包括利益	123	127

⑥ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,955	2,994
減価償却費	7,269	7,349
その他	290	△ 5,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,516	4,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 6,880	△ 6,901
その他	△ 587	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,468	△ 6,466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,630	1,231
現金及び現金同等物の期首残高	7,407	8,806
現金及び現金同等物の期末残高	8,806	8,449

環境分野

低炭素社会の構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

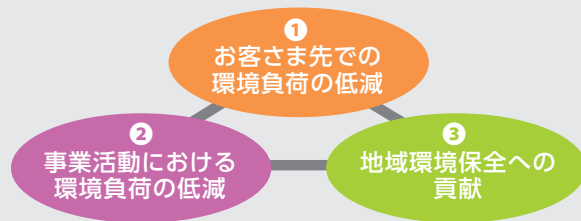
環境保全活動の基本的な考え方

1993年度に環境基本理念および環境行動指針を制定し、環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で取り組むことにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。

■ 広島ガスグループ環境基本理念

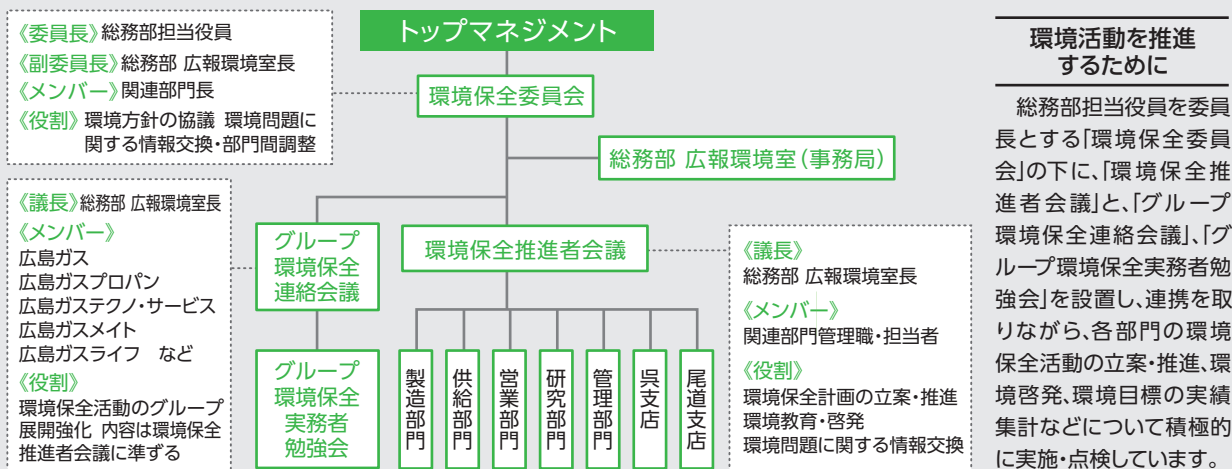
広島ガスグループは、
事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を
追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、
社会の持続可能な発展に貢献する。

■ 広島ガスグループ環境行動指針



▶ 環境行動指針を支える環境マネジメント

■ 環境活動推進体制 (2019年4月1日現在)



▶ 都市ガス(広島ガス)の組成

LNGを主原料に都市ガスを製造し、ガス導管を通じてお客さまにお届けしています。毒性のないメタン中心のガスで、無色無臭のため工場で付臭しています。

【都市ガスの性状】

成分およびその含有量(天然ガス供給区域)

成分			組成	
名称	化学式	体積%	ガス種	13A
メタン	CH ₄	91	標準熱量	45MJ/m ³ (10,750kcal/m ³)
エタン	C ₂ H ₆	5	比重(空気=1)	0.639 (空気より軽い)
プロパン	C ₃ H ₈	2	CO ₂ 排出係数	2.29kg-CO ₂ /m ³ (石炭の60%)
ブタン	C ₄ H ₁₀	2		

(注) ガス組成は代表値を示す。

備考

LCA^{※1}による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

この表は、化石燃料が採掘から燃焼までの各区分で排出する温室効果ガス排出量(CO₂換算値)を比較しており、LNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)が、他の化石燃料と比べ、LCA評価においても優位性があることを示しています。

区分	石炭	石油	LPG	LNG
生産	4.58	4.06	4.94	9.17
輸送	1.71	0.79	1.80	1.97
設備	0.11	0.08	0.11	0.04
燃焼	88.53	68.33	59.85	49.40
合計	94.93	73.26	66.70	60.58
指数 ^{※2}	100	77	70	64

※1 LCA:ライフサイクルアセスメント
原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法。表の数値は、温室効果ガス排出量をCO₂換算し、総発熱量ベースで算出。
※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比。

(資料) LNGおよび都市ガス 13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の未来予測、「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)

▶ 環境啓発活動

広島ガスグループ環境講演会

開催日 / 2019年6月10日(月)
講師 / 大阪ガス株式会社 CSR・環境部長 津田 恵 様
テーマ / 「社会の課題にエネルギーで応える
～Daigasグループのサステナビリティ経営～」



広島ガスグループ環境講演会

▶ 環境保全・生物多様性への考え方

広島ガスグループは、環境特性に優れた天然ガスを中心とするエネルギー供給事業者として、環境保全・生物多様性に配慮した事業展開を幅広く認識し、環境保全活動に真摯に取り組むことで、社会の持続可能な発展に貢献していきます。



パラスト水確認作業



エヒメアヤメ生息地草刈り(三原市)

温暖化対策・温室効果ガス削減に向けた動き、低炭素社会への貢献

世界

2016年11月 パリ協定発効

【目標】世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2℃未満に抑える(先進国・開発国を含む国・地域が参加)



日本

【中期目標】2030年度において2013年度比で26%の温室効果ガスを削減



部門別削減目標目安		ガス業界・広島ガス	
部門	政府目標目安	ガス業界・広島ガスで貢献できること	参照ページ
家庭部門	40%減	・天然ガスの普及拡大 ・家庭用燃料電池[エネファーム]など高効率機器の普及拡大	→P.23 →P.24
業務その他部門	40%減	・天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大 ・エコオフィスの推進	→P.23 →P.24 →P.26
産業部門	7%減	・燃料転換による天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大	→P.23
エネルギー 転換部門	28%減	・工場でのエネルギー使用の効率化 ・業務施設などにおける再生可能エネルギー設備の導入	→P.25 →P.26

環境省「地球温暖化対策計画」より エネルギー起源CO2数値

持続可能な社会にむかって、今年度より当社の取り組みについてSDGsの目標にあわせて、ページ右上に該当分を記載します。

◎持続可能な開発目標「SDGs(Sustainable Development Goals)」17の目標



① お客さま先での環境負荷の低減

広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努めます。

▶ 天然ガスの環境性

天然ガスはクリーンなエネルギーです。化石燃料の燃焼生成物など発生量比較(石炭を100とした場合)



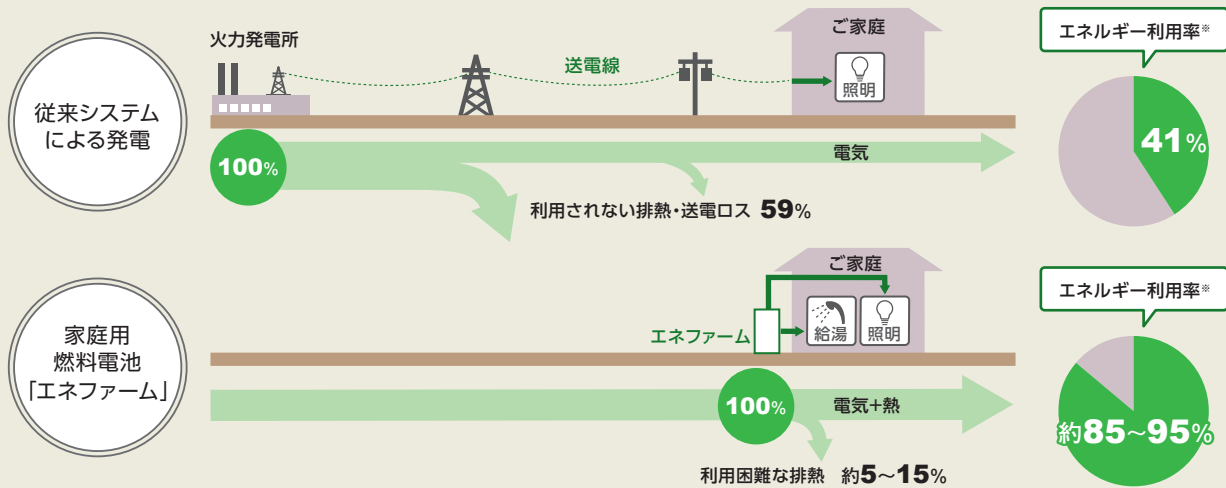
天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少ないため、化石燃料の中でもクリーンなエネルギーといわれています。
出典:「エネルギー白書2013」資源エネルギー庁

▶ エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーションシステム

ガスコージェネレーションシステムは、天然ガスを使用して発電するとともに、同時に発生する熱を給湯や冷暖房で利用することで、エネルギーを効率的に利用できるシステムです。

エネルギー利用効率の比較

発電所で発生する熱は、そのほとんどが捨てられてしまいます。また、遠く離れた家庭に電気が運ばれてくるまでに、送電ロスなどが発生します。ガスコージェネレーションシステムである家庭用燃料電池「エネファーム」であれば、使う場所がエネルギーをつくる場所となります。そのためロスが少なく、排熱も有効活用できます。約8割～9割のエネルギー利用率が期待でき、省エネ・環境性に優れています。



※LHV(低位発熱量:燃料を燃焼させたときに生成する水蒸気の蒸発潜熱を発熱量に含めない発熱量)基準。
※エネファーム製造メーカー公表値より。

出典:(一)日本ガス協会

▶ 燃料転換の取り組み(工業用)

広島ガスでは、天然ガス販売量の約5割は工業用のお客さまが占めています。広島ガスが供給する天然ガスは半導体工場・自動車工場・製鉄所などさまざまな業種の生産工程において利用されています。

溶解炉、熱処理炉などの工業炉やボイラの燃料を重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。油燃料から天然ガスへの燃料転換によりCO₂排出量は約25%の削減が可能となります。



ガス工業炉

▶ 天然ガス高効率利用の促進(家庭用)

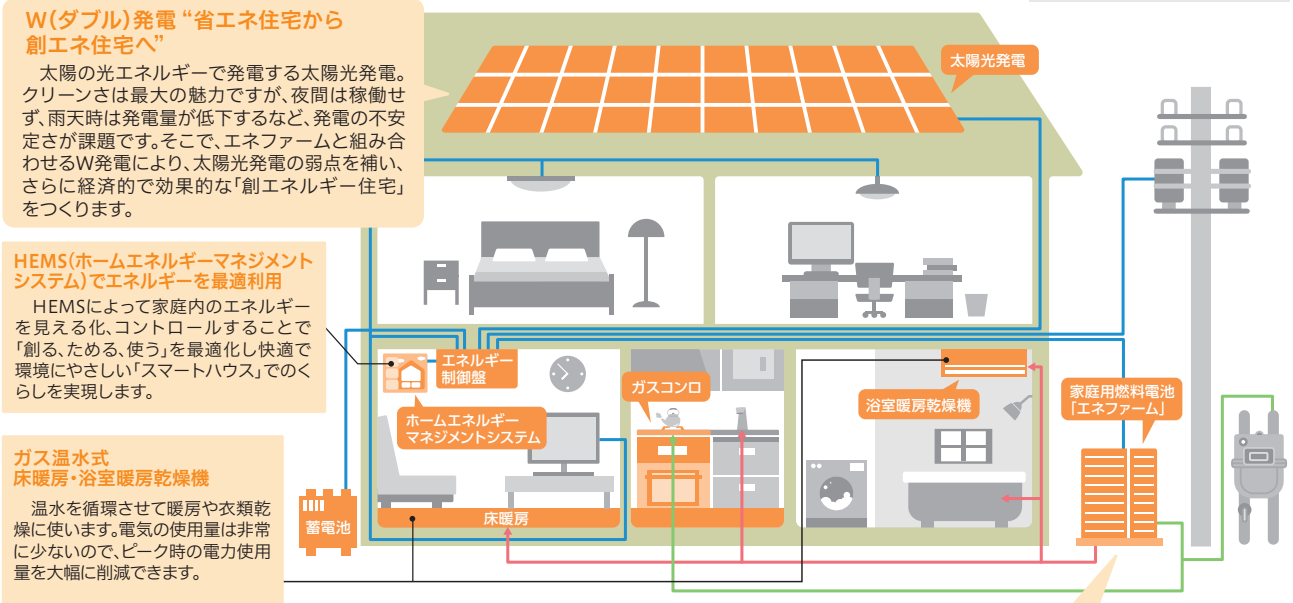
天然ガスの普及拡大を図りつつ、エネルギーの高度利用を推進すること、具体的には太陽光などの再生可能エネルギーの出力変動を天然ガスで補完することなど、さらなる省エネ・省CO₂、ZEH* (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及拡大に貢献するとともに、便利で快適なくらしをご提案します。

*ZEH…年間の一次消費エネルギー量の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

▶▶▶ 家庭用高効率機器の普及

【環境にやさしい未来型住宅(スマートエネルギーハウス)の提案】

— ガス — 電力 — 温水



高効率給湯器「エコジョーズ」
(累計販売台数49,491台)
(2019年3月31日現在)
従来利用されていなかった排熱をコンデンス技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器です。

高効率給湯器「エコジョーズ」



家庭用燃料電池「エネファーム」

P社製(固体高分子形)



A社製(固体酸化物形)

家庭用燃料電池「エネファーム」
(累計販売台数2,269台)

(2019年3月31日現在)

「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくりまします。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~1.5t抑えるエネルギー効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

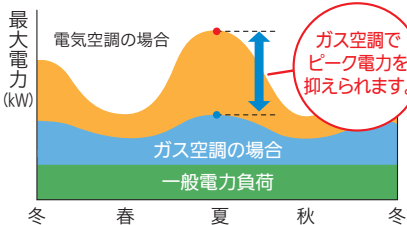
▶ 天然ガス高効率利用の促進(商業用)

▶▶▶ 業務用高効率設備・機器の普及

◎ガスヒートポンプ(GHP)・ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)の普及促進

ガスヒートポンプ・ガス吸収冷温水機は、ガスで空調するシステムで、夏期・冬期における電力のピークカットに大きな効果を発揮します。

【GHPによる消費電力の平準化(イメージ)】



ガスヒートポンプ(GHP)



ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)

◎天然ガス自動車

天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫酸化合物が含まれず、地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えることができます。



天然ガストラック

▶ 環境技術開発(広島ガス技術研究所)

▶▶▶ 省エネ機器・システム開発

未利用エネルギーであるガスの圧力差を利用した発電システムを開発しました。

これは都市ガスを減圧する際の膨張エネルギーで発電し、特徴は燃料が不要、CO₂を排出せずに発電し、簡単な構造で中小ガス事業者や大口のお客さまへ導入しやすいシステムです。

現在、共同開発者である(株)オンセックより販売しています。



ガス差圧発電装置

② 事業活動における環境負荷の低減

広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進します。

▶ ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進などによりアスファルト・コンクリート・土砂などの排出量の削減に努めています。

▶▶▶ ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化



◎非開削工法による掘削土の削減

道路を掘らずにガス導管を埋設する工法

◎浅層埋設による掘削土の削減

道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法

◎掘削幅縮小による掘削土の削減

道路掘削幅を従来より縮小する工法

◎掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用

ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。

【アスコン塊のリサイクル】

アスコン塊は2018年度にグループ全体で2万2千t発生し、ほぼ全量を再生アスファルト合材として、資源リサイクルしています。

【ガスメーターのリユース】

使用済ガスメーターの分解・整備・検査によるリユースに努め、2018年度は、約4.5万個(約99%)をリユースしました。

▶▶▶ ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン(PE)管を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



ポリエチレン管の可とう性

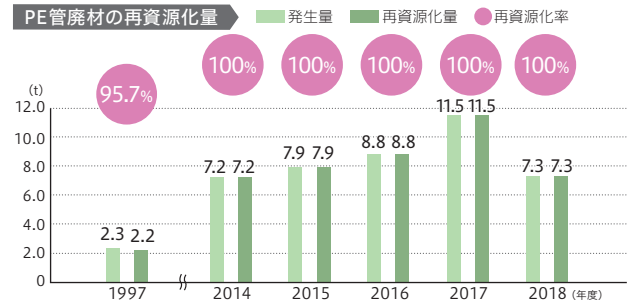


ポリエチレン管



ポリエチレン管リサイクル品(病院向けボックス)

PE管廃材の再資源化量



▶ 工場におけるエネルギー有効利用

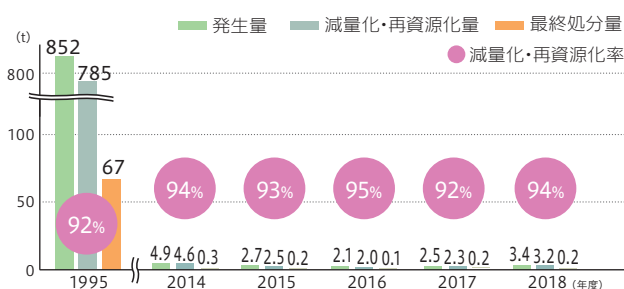
2004年、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、排熱の活用により、CO₂排出量の抑制に寄与しています。また、余剰電力は小売電気事業者などへ卸売供給しています。

2018年度のCO₂発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ約10万t、約80%削減できました。

▶ 産業廃棄物の削減と再資源化

都市ガスの原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

産業廃棄物(製造所)の減量化・再資源化

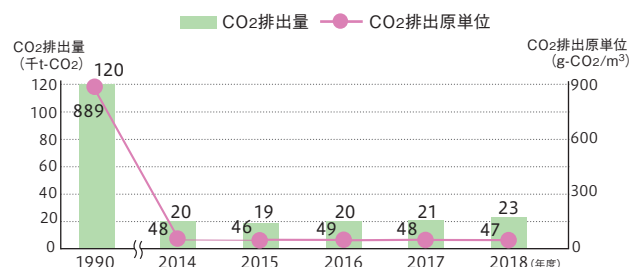


廿日市工場 ガスコージェネレーション システム概要

- 発電容量/11,000kW
・高効率天然ガスエンジン
5,500kW×2基
- 送電容量/最大10,000kW
・特別高圧22kV
- 総合効率/約78%
・発電効率42%、
熱回収効率36%

ガスコージェネレーションシステム(廿日市工場)

都市ガス製造におけるCO₂排出量と原単位



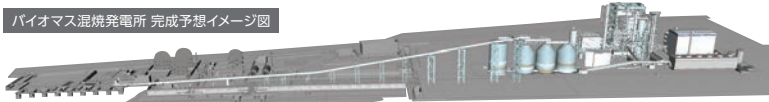
▶ 再生可能エネルギーの活用

2017年10月に設立した「海田バイオマスパワー株式会社」は、2021年3月の営業運転開始をめざし、バイオマス混焼発電所の建設工事中です。本事業を通じ、再生可能エネルギーの普及拡大や、低炭素社会の実現に貢献していきます。

また、2013年10月から、呉市の旧阿賀工場跡地にて、大規模太陽光発電所（733kW）の運転を開始しています。

さらに、本社ビル・支店・ショールーム・グループ会社でも太陽光発電設備を設置して、環境保全活動に努めています。

バイオマス混焼発電所 完成予想イメージ図



大規模太陽光発電所（呉市阿賀）



事業所太陽光発電（広島ガスプロパン）
（広島市安佐南区緑井）

▶ 事業所における省エネと資源の有効活用

▶▶▶ エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO2排出削減、廃棄物排出の削減などを推進しています。全国的な節電の必要性などを踏まえ、オフィスに加え家庭での省エネ行動例を社内周知しています。



ペーパーレス会議

《エコオフィス活動項目》

- ① エネルギー消費の低減
節電、空調管理、節水、公共交通機関の利用促進、クールビズ（5月～10月）の実践、省エネ機器（LED照明など）への更新など
- ② 資源消費の低減
紙の使用削減と再資源化、タブレット端末の導入など
- ③ 廃棄物の発生抑制と適正処理
ごみの分別強化、リサイクル推進など
- ④ 自動車管理、低公害車の導入
使用頻度の少ない車の契約解除対応
- ⑤ 自転車の活用による環境保全
近隣・市内中心部へ移動の際、自転車を活用
- ⑥ 全社掲示板による環境保全啓蒙活動

▶ 環境に関する法令遵守 2018年度は、環境に関する法令違反や罰則の適用はありませんでした。

▶▶▶ 省エネ法への対応

省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）ならびに温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）に基づき、エネルギー管理統括者などの選任、ならびに全事業所を対象とした定期報告書および中長期計画書などを監督官庁である中国経済産業局に提出しました。

今後も、法令に基づきエネルギーの有効活用に努めていきます。

▶▶▶ 自動車環境管理

広島県条例「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、自動車使用合理化実施状況報告書、広島市条例「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、自動車環境報告書などを行政に提出しました。

今後も、条例に基づき適正な車両管理・低公害車の導入に努めていきます。

▶▶▶ 土壌調査とその対応

天然ガス転換完了を機に、石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、ヒ素、シアンなどによる汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えていますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地（現：海田基地）については、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。



水処理装置（海田基地）

▶▶▶ 産業廃棄物処理場の実地確認

廃棄物処理法（「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」）、広島県条例に基づき、広島ガスグループから産業廃棄物として排出される処理場の実地確認を行っています。



産業廃棄物処理場

▶▶▶ 化学物質の管理

[PCB（ポリ塩化ビフェニール）の管理]

トランス、コンデンサーなどに使用されていたPCBは保管場所に集積・管理し、2014年5月に高濃度PCB、2015年9月に低濃度PCBの無害化処理を実施しました。

[水銀含有機器の処分]

2013年水俣条約が採択、2015年「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が制定・公布され、2017年度に広島ガス、2018年度に広島ガスグループの水銀含有機器の調査・回収・処分を完了しました。

[PRTR法[※]への対応]

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2018年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

[※]PRTR法：特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出ることを定めた法律

[アスベスト使用状況調査とその対応]

広島ガスおよびグループ会社3社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備などにおける使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが、一部使用が確認され、除去作業を2005年に完了し、調査結果を同年公表しました。

③ 地域環境保全への貢献

広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に積極的に取り組みます。

▶ 地域清掃活動

毎月一回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、ひろしま男子駅伝、グリーン太田川河川一斉清掃など行政主催の清掃イベントにも参加しています。



事業所周辺清掃

▶ 環境学習・環境啓発活動

行政・学校・地元企業と連携し、環境保全・教育活動を推進するとともに、ショールームなどでの環境セミナー、調理実習、施設見学説明会など、体験型学習を行っています。



環境講演・セミナー



調理実習(エコ・クッキング教室テレビ取材)

年月	名称	内容
年間を通じて	環境学習(エコ・クッキング教室など)	社会分野(P.33)を参照ください
	出張環境講演・セミナー	地元企業などでの環境講演セミナー

▶ 各種環境イベントなどへの出展

CSR活動や、天然ガスの環境性や省エネ型ガス機器の紹介などを実施しています。

年月	名称	内容
2018.6	環境の日ひろしま大会(広島県環境イベント)	燃料電池発電実演、エネファーム貯金箱工作、都市ガスポリエチレン管紹介 など
2018.7	2018ひろしま温暖化ストップフェア(広島市環境イベント)	西日本豪雨災害のため中止
	ひがしひろしま環境フェア2018	
2018.9	くれエコフェスタ2018	
2018.10	はつかいち環境フェスタ2018	燃料電池発電実演、エネファーム貯金箱工作、都市ガスポリエチレン管紹介 など
2019.2	府中町緑の仲間フェスタ	燃料電池発電実演、エネファーム貯金箱工作、都市ガスポリエチレン管紹介 など



はつかいち環境フェスタ2018



府中町緑の仲間フェスタ

▶ 地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員などとして参画し、環境啓発・教育・イベントなどを支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント運営・関係会議への出席など
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会	関係会議への出席など
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援・関係会議への出席など
ひろしまエコパートナー	広島市	環境講座実施など
くれ環境市民の会	呉市	イベント支援・関係会議への出席など
エコネットひがしひろしま	東広島市	イベント支援・関係会議への出席など
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局	関係会議への出席など



ひろしま地球環境フォーラムイベント(クリーン&サンフレッチェ運営)

▶ 広島県の森林保全参画による地域環境貢献

広島ガス創立110周年を記念し、2019年度より広島県が保有する森林のJクレジットを購入する活動を開始しました(2019年度 6トン/年)。

広島県の森林保全に参画することによって、CO2削減に貢献しています。今後は、当社活動に対して、カーボンオフセットを実施していきます。



広島県認定証



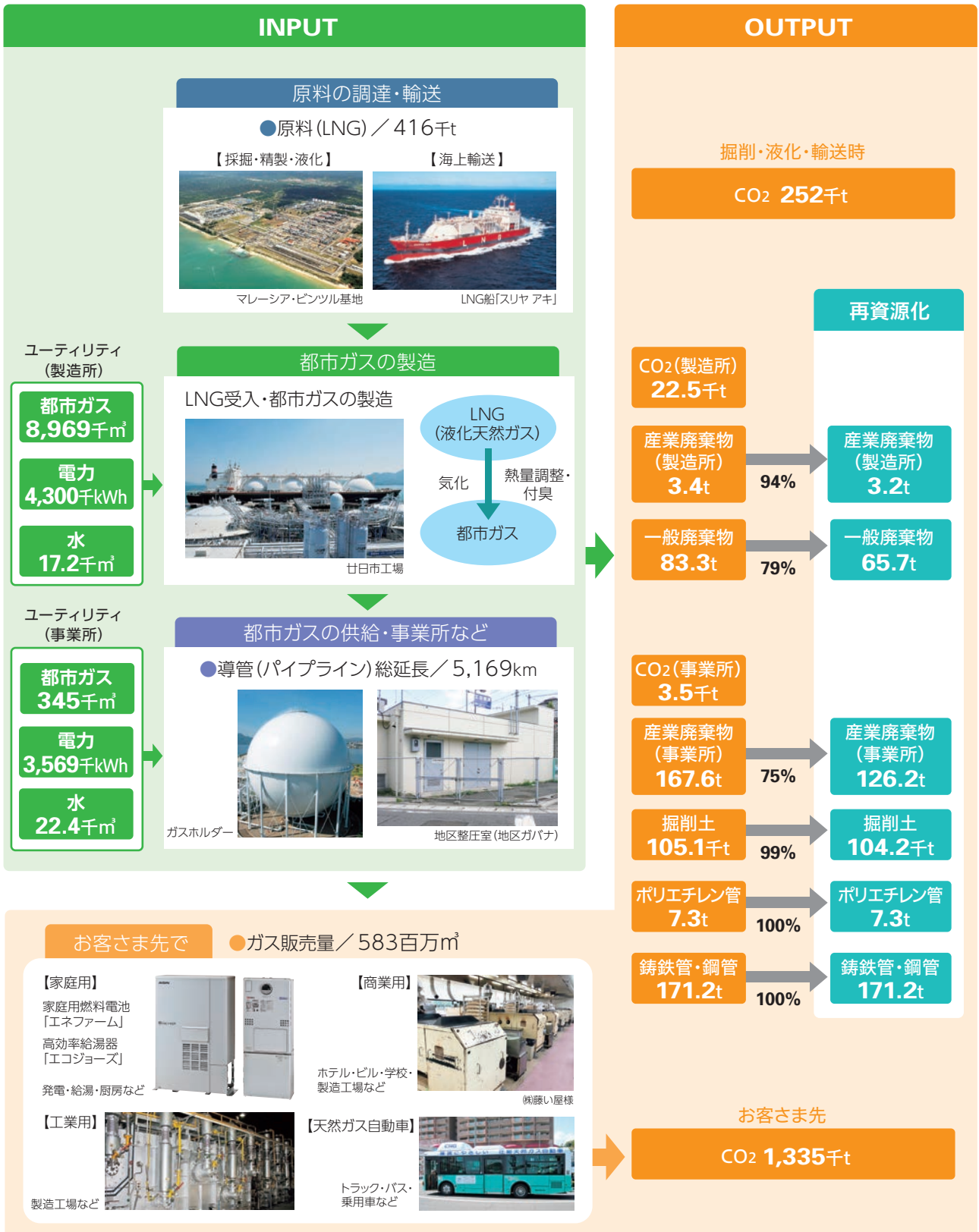
広島県Jクレジット森林

環境負荷低減フロー (2018年度実績)

環境保全活動における
お取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリーなどの役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメントなど)への協力を依頼しています。

- 環境保全に関する覚書
- 安全環境教育



経営分野

環境分野

社会分野

環境目標および実績

環境保全活動を効果的に推進するため、環境目標を設定し、活動を進めています。

2016年度～2020年度 環境目標

*行政など目標値

■ 目標 ■ 実績

環境行動指針	環境目標	2018年度 目標・実績	2019年度 目標
① お客さま先での 環境負荷の低減	① お客さま先でのCO ₂ 排出量を年間1万t以上削減する。	(万t-CO ₂) ↑良い 4.0 3.0 2.0 1.0 0 1.1 3.9 達成	(万t-CO ₂) 4.0 3.0 2.0 1.0 0 1.1以上
	② ガス製造工場の過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	(%) ↑良い ↓悪い 10.0 0 -1.0 -2.0 -1 8.2 未達	(%) 10.0 0 -1.0 -2.0 1以上減
	③ オフィスの過去5年の前年比エネルギー使用量原単位平均を1%以上削減する。	(%) ↑良い ↓悪い 1.0 0 -1.0 -2.0 -1 0.9 未達	(%) 1.0 0 -1.0 -2.0 1以上減
	④ 低公害車の割合を2020年度までに70%とする。	(%) ↑良い 80 60 40 20 0 62 73 達成	(%) 80 60 40 20 0 66以上
	⑤ 広島ガス事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、55g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)以下を維持する。	(g-CO ₂ /m ³) ↑良い ↓悪い 60 50 40 30 20 10 0 55 47 達成	(g-CO ₂ /m ³) 60 50 40 30 20 10 0 55以下
	⑥ 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2020年度まで1t以下を維持する。	(t) ↑良い ↓悪い 2.0 1.0 0 1 0.2 達成	(t) 2.0 1.0 0 1以下
	⑦ ガス導管工事から発生する掘削土量を、従来工法に比べ35%以上削減を維持する。	(%) ↑良い 50 40 30 20 10 0 35 46 達成	(%) 50 40 30 20 10 0 35以上
	⑧ ガス導管工事から発生する掘削土量の再資源化率85%以上を維持する。	(%) ↑良い 100 80 60 40 20 0 85 99 達成	(%) 100 80 60 40 20 0 85以上
② 事業活動における 環境負荷の低減	⑨ CSR・環境分野でのお客さま・地域の方との接点を年間15,000人以上とする。	(人) ↑良い 18,000 12,000 6,000 0 13,000 18,000 達成 2,000 1,800	(人) 18,000 12,000 6,000 0 13,000以上 2,000以上

*西日本豪雨災害による環境イベント中止による影響のため

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした(一社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」(2002年10月改定)に基づき集計しました。

▶ 2018年度の集計実績

▶▶▶ 環境保全コスト

(単位：百万円)

環境保全コスト項目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音などの防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	8	13	18	17
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	80	158	18	35
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	0	0	5	29
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、環境マネジメントシステム(EMS)構築、環境対策組織などのコスト	0	0	16	17
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化など(主要内容：旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	0	0	33	13
お客さま先	環境R&D*	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	16	12	26	26
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表など	0	0	23	23	
合 計			104	183	139	160

*環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものをいいます。

●地球環境保全の投資額については、広島ガス防災センタービルエネルギー有効利用設備設置により増加しました。

▶ 2018年度の効果

【環境負荷水準】

環境負荷水準	2017年度	2018年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	37	33
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	48	47
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	7	6
掘削発生土外部排出量 (千t)	1	1
産業廃棄物発生量(最終処分量)(t)	23	41
一般廃棄物発生量(最終処分量)(t)	13	18

【企業内経済効果】

(単位：百万円)

経済効果	2017年度	2018年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	317	286
燃料ガス使用量削減による経費削減額	128	127
ガスコージェネレーション発電に伴う売電収入	407	347
太陽光発電に伴う売電収入	36	35
その他	1	1
合 計	889	796

【 全社設備投資額における環境設備投資額比率 】

	2017年度	2018年度
全社設備投資額(百万円)	7,401	6,946
環境設備投資額比率(%)	1.4	2.6

【 全社総売上高における環境費用額比率 】

	2017年度	2018年度
全社総売上高(百万円)	55,439	62,362
環境費用額比率(%)	0.3	0.3

- 経済効果については、自家発電や、ガス導管工事における掘削発生土の削減、太陽光発電に伴う売電収入などにより、796百万円の効果となりました。
- 太陽光発電に伴う売電収入は、年間35百万円となりました(発電量874千kWh)。

地域社会との関わり(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)

当社は、地域に深く根差した企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援(次世代教育への取り組み)」の4分野を軸に、2030年ビジョンで設けた新たな枠組みである「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」を意識した取り組みを展開しています。



➡ このまちと共に成長・発展

❀ ——— 芸術・文化振興、地域振興 ——— ❀

▶ 「第32回広響ホットコンサート」の開催

中国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

2018年度は、広島文化学園HBGホールにて「このまち思いシンフォニー」と題して、広島出身のピアニスト萩原麻未氏を迎え、1,700名を超えるお客さまに華やかな名曲をお楽しみいただきました。また、コンサート会場にて平成30年7月豪雨災害への義援金を募りました。



コンサートステージ

▶ 「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を高めるとともに、両国間の交流推進を目的として、約240の法人・個人会員のご支援のもと、1996年から広島インドネシア協会の事務局を運営しています。特に、多くのインドネシア留学生在が在席している広島大学、広島で働いているインドネシア人看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある地元企業などと連携し、年間行事として総会・インドネシア共和国独立記念祭・講演会・インドネシア文化に親しむ会・インドネシア料理を楽しむ会などの活動を行っています。



広島インドネシア協会講演会

▶ 2019ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの協賛

»» 地域の皆さまとともに、地域の活性化に向けて

毎年5月3日～5日に開催され、全国的にも多くの来場者数(2019年:約170万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルは、1977年の第1回開催以来、2019年で43回目の開催を迎えました。

当社は、バドミントンにちなんだ参加型ブースを出展し、多くの皆さまにお越しいただきました。また、ステージ出展では当社バドミントン部やスキー部の竹内智香選手のトークショーを開催するとともに、広島電鉄㈱と共同での神楽フェスティバルへの協賛などを通じて祭りを盛り上げました。環境保全の観点からも、JT(日本たばこ産業㈱)が主催する清掃活動にも参加し、他の企業と協力しながら、きれいな街づくりに貢献しました。



ひろしまフラワーフェスティバル GASLANDブース



バドミントンミニゲーム



JT清掃活動への参加

▶ 地域のスポーツ振興に向けた取り組み

バドミントン部

▶▶▶ S/Jリーグへ昇格!

バドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームです。2019年2月に行われたS/Jリーグ入替戦に勝利し、4期ぶりのS/Jリーグ復帰を決めました。2019年度はトップリーグでの戦いとなり、さらに上位をめざしていきます。



S/Jリーグ入替戦(2019年2月)



江藤・小田組

▶▶▶ 地域貢献

地域貢献活動として、月1回程度中学生・高校生の広島県代表選手の指導、また地域の小学校などで講習会を行い、次世代の子どもたちにバドミントンを通してスポーツのすばらしさを伝えています。



バドミントン講習会(地域の子どもたちへの指導)



スキー部

▶▶▶ 海外遠征など競技活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、数々の国際大会に出場しています。



竹内智香選手



スノーボード教室

▶▶▶ 地域イベントでの交流

スノーボードやスポーツのすばらしさを多くの方に伝えるため、地域のイベントにも参加し、ひろしま観光大使としても活動しています。また、2018年度は新たに中学校での授業講演を行うなど広島での地域貢献活動に一層力を入れています。



中学校での授業講演



アスリートクッキング



▶ サンフレッチェ広島
「広島ガススポンサードゲーム」を開催

Jリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活力アップにつながるようとの願いを込め、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。多くの役職員がエディオンスタジアム広島に集結し、サポーターとともに熱い声援を送りました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2018年11月)

▶ 広島東洋カープ
「広島ガススポンサードゲーム」を開催

2018年に「このまち思いエネルギー。広島ガススポンサードゲーム」を初開催しました。当日は抽選企画で当選した当社Web会員50組100名様を招待するとともに、球場内にブースを設け、当社サービスのPRや子ども向け塗り絵コーナーを展開し、多くの方に広島東洋カープの応援を楽しんでいただきました。



カープスポンサードゲーム(2018年5月)

▶ 広島東洋カープ地元4社で合同応援を実施

地域の活性化をめざし、中国電力(株)、(株)広島銀行、(株)中電工、当社の4社で地元プロ野球球団である広島東洋カープの合同応援を実施しています。



❀—— 教育支援(次世代教育への取り組み) ——❀

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、火育、食育、エネルギー・環境教育、防災教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。

次世代教育活動をまとめた総合パンフレット・ホームページを毎年更新し、小学校・中学校を中心に、さまざまな対象学年や習熟度にに応じて選択いただける出張授業などを紹介・募集しています。



次世代教育プログラム
パンフレット



ホームページ「子どもエネルギー ACTION!!!」
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/action>

▶ 出張授業

食育

》》エコ・クッキング※教室 【小学生・中学生対象】

※「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です

食べ物やエネルギーを大切にすることを学び、ムダのない調理の工夫などを通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片づけに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。



味覚教室の様子

》》味覚教室 【小学生対象】

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。

火育

》》火育教室 【小学生対象】

炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、さまざまな炎の観察や比較、火おこし体験などを通じて「火を親しみ、火を学ぶ」体験ができます。



火育教室の様子

エネルギー・環境教育

》》サイエンスショー

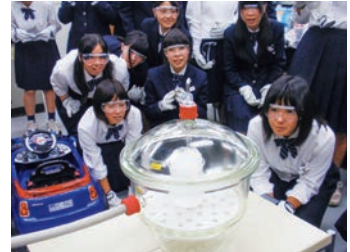
【小学生・中学生対象】

理科や科学の楽しさについて、さまざまな実験を通じてわかりやすくご紹介しています。冷熱・燃焼実験や燃料電池実験に加え、天然ガスの特性やエネルギー・環境の大切さなどを伝えています。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

》》技術研究所 理科実験授業

【小学生・中学生対象】

技術研究所の職員が、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」についてわかりやすく伝えています。学校での出張授業に加え、技術研究所で施設見学と併せた授業も実施しています。



実験の様子

防災教育

》》ライフライン防災教室 【小学生・保護者対象】

広島市水道局、中国電力㈱と当社が三者合同で、小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。災害が起こった際に役立つ、ガス、電気・水道に関する知識の提供を通じて子どもたちの防災意識を高めることを目的に実施しています。

また、2016年度からは当社単独での広島ガス防災教室も実施しています。



広島ガス防災教室の様子

▶ 科学講座

》》スーパーサイエンスミュージアム(SSM) 【小学生対象】

2018年度で16年目をむかえたSSMは、科学を通して子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携した広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施している取り組みです。

対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、学習指導要領にとらわれない高度な理科講座を年間17回程度展開し、地元企業や博物館などとの連携プログラムも取り入れています。



遺伝子実験の様子

情報発信・お客さま満足度向上の取り組み

当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIR・環境保全に関する情報開示、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

▶ 報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



記者会見



ホームページ「IR情報」

▶ IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、当社の活動内容や財務状況の全容を開示しています。



ホームページ「IR情報」(英語)



会社説明会(個人投資家向け)



会社説明会(アナリスト向け)

▶ グループ広報誌

広島ガスグループ役員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を発行しています。グループ会社の役員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

▶ 企業スローガンの浸透に向けて

企業スローガン「このまち思いエネルギー。」に込めた思いをより多くの皆さまにお伝えするため、ドラマCM「このまち思い物語」を放映しています。また、2018年度からは新たにエピソード募集キャンペーン「このまち思い出物語」を実施しました。さまざまな媒体を通じて、広島の魅力をお伝えするための活動を展開しています。



エピソード募集キャンペーン「このまち思い出物語」

【CMライブラリー】 <http://www.hiroshima-gas.co.jp/home/cm/>
【このまち思い出物語】 <http://www.hiroshima-gas.co.jp/konomachi-ene/episode/result.htm>

▶ イベント出展

安心して快適なガスライフを発信しています

住宅展示場や当社ショールームでのイベントを通じて、ガス機器のよさを体感していただくための活動をしています。



住宅展示場での出展ブース

▶ 消費者団体との懇談会

お客さまにガス事業を知っていただくために

当社事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため(公社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



(公社)広島消費者協会との定例懇談会

▶ 2018ガス展開催

2018年度のガス展は、「このまち思いエネルギー。」をテーマに、広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)で開催し、11月17日(土)からの2日間で約3万7千人のお客さまにお越しいただきました。呉・尾道・広島ガスプロパングループ各地でもガス展を開催し、呉会場8,040人、尾道会場2,971人にご来場いただきました。お客さまには、日ごろの感謝の気持ちをお伝えするとともに、エネファームなどの最新ガス機器の展示・体験を通して、ガスのある快適で環境にやさしい暮らしを提案しました。



広島会場



呉会場



尾道会場

求める人材像「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」

広島ガスが求める人材像は、「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」です。具体的には、公益事業者としての強い使命感を持ち、主体的に取り組み、努力を惜しまず、まわりの仲間と一緒に成長し続け、そして、つねにお客さま視点で考え、行動できる人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

▶ 全員が総合職

ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要である

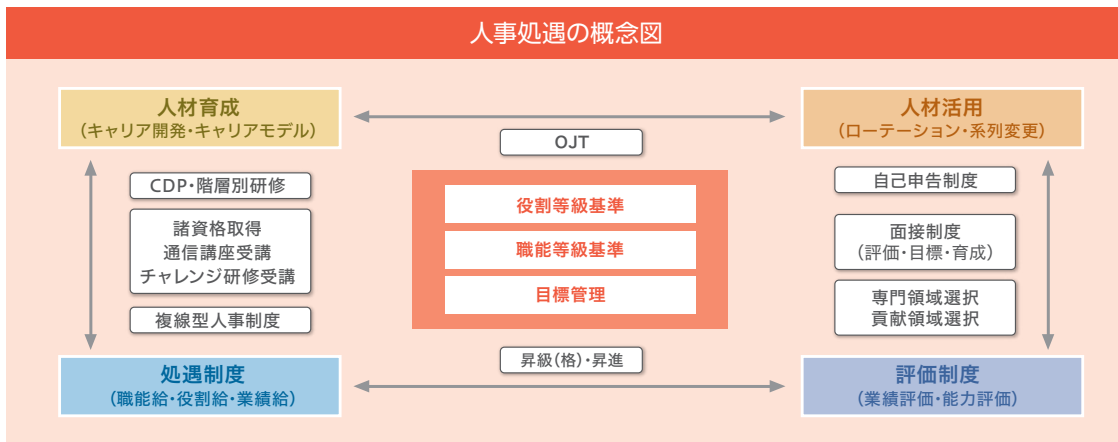
ため、従業員は全員が総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望も踏まえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

▶ 人事処遇制度

2030年ビジョンの基本方針の一つとして「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。

会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評定者に対しては、新任管理職研修などの機会を利用し、評定者訓練などを実施しています。



▶ 人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成

のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【研修体系図】

	新入社員	主任研修	係長研修	課長代理研修	新任管理職研修	管理職研修
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修					
キャリア開発研修 (CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修)	CDP3 (入社3年目研修)	CDP30 (30歳次研修)		CDP40 (40歳次研修)	CDP50 (50歳次研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など					
ガス技能研修 (社内資格研修など)	技能資格研修(営業(機器関係など))・(供給(配管関係など)) 技能向上研修(スキルアップ)(営業)(供給)・オーダーメイド研修 など					
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)	各種部門内研修 各種社外講演会					
人権啓発推進	コンプライアンス研修会					
国内外留学	キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学					
自己啓発支援	通信講座受講支援・資格取得支援・マネジメント力養成講座・オンライン英会話					
その他	メンター研修・チーフ研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者など					

働きやすい職場環境をめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

▶ 働き方改革への取り組み

「働き方改革」については、2017年度から広島ガスとしての取り組みを開始しており、①総労働時間の短縮(長時間労働の是正)、②多様で柔軟な働き方への環境整備、③女性の活躍推進の3つを軸として活動を進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」をめざし、従業員の労働時間に対する意識向上に向けた取り組みを行っています。

① 総労働時間短縮への取り組み

ノー残業デー

●部署ごとに残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

② 多様で柔軟な働き方への環境整備

フレックスタイム制度

●1日の所定労働時間を固定せず、1ヵ月単位で総労働時間を管理していく制度

●社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

育児短時間フレックス勤務制度

●社員の育児支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定。仕事と育児の両立を支援

【育児短時間フレックス制度利用者の推移】

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
育児短時間フレックス利用者(人)	7	9	11	12	13

③ 女性の活躍推進への取り組み

女性の採用に占める割合を30%以上とする

女性の職域を拡大する(配属先の多様化)

●今後、女性社員のさらなる活躍を促し、多様な人材の活躍推進につなげるため、新卒採用における女性採用率の向上、さまざまな業務経験を通じて育成を図るための女性の職域拡大を実施

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間フレックス勤務制度」の導入、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりを推進しています。これは男女ともに働き方や育児・介護参加の視点による取り組みであり、社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

【育児休業制度利用者と復職率の推移】

区分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
育児休業制度利用者(人)	3	5	2	5	4
育児休業制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

社員の声 ▶ 育児休業を取得

2017年11月に第1子を出産し、育児休業を取得後、2018年11月に復職しました。復職前から社内の先輩ママや職場の方々にアドバイスをいただいていたこともあり、不安なく復職することができました。

復職後は、子どもの体調不良等で急きょお休みをいただくことが多々あり、職場の方々にご迷惑をおかけしておりますが、フォローしていただき大変感謝しております。毎日慌ただしい日々を過ごしておりますが、短時間勤務制度のおかげで娘とふれあう時間を作ることができています。

今後もこの制度を上手く活用し、メリハリをつけながら仕事も子育ても楽しんでいけたらと思います。



家庭用エネルギー営業部
伊東 順子

▶ 人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を遵守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

▶ 人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
期末要員数[人]	684(111)	676(116)	669(119)	669(127)	661(133)
平均年齢[歳]	42.6(38.7)	43.5(39.9)	43.4(39.9)	43.5(39.7)	43.3(39.5)
平均勤続[年]	18.7(14.0)	18.9(15.1)	18.7(15.2)	18.9(14.5)	18.6(14.1)
新卒採用[人]	15(4)	12(3)	17(4)	21(7)	22(7)
定年退職[人]	13	11	10	12	11
(うち再雇用[人])	(12)	(9)	(7)	(10)	(9)
障がい者雇用数[人]	15	15	14	15	17

年実施しており、その結果を基に、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(同和問題の解決をめざす広島企業連絡会)に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

▶ 労働安全衛生活動の基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令遵守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを遵守する。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

▶ 労働災害の防止

広島ガスは安全衛生管理組織のもと、労働災害防止と従業員の安全確保に努めています。具体的には、本社地区の安全衛生委員会を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全活動を行っています。

▶▶ 安全意識の向上

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、2016年から毎年「安全大会」を開催するなど、労働災害防止に努めています。



安全大会

▶ 健康の保持・増進

従業員の健康の保持増進に向けて、産業保健スタッフ（産業医・保健師）が中心となり、きめ細かい健康管理を行っています。

▶▶ 健康診断

広島ガスの定期健康診断の受診率は毎年100%を達成しています。また、健康診断項目も年々充実させており、法定検査項目以上の水準で実施しています。

健康診断時には保健師による問診を実施するとともに、健康診断後にも全従業員を対象に保健師がフォロー面談を行い、一人ひとりに対して健康診断結果に基づいた食事指導や、運動その他日常生活指導を行うなど、きめ細かい健康指導を行っています。



産業医の健康指導

▶▶ メンタルヘルス対策

メンタルヘルス疾患の予防・早期発見のため、以下の対策を中心に今後も継続・強化していきます。

- ①全従業員を対象にしたストレスチェックを2013年から実施。
- ②毎年、全従業員を対象にメンタルヘルス研修会を実施。
- ③新入社員、人事異動者を中心に保健師によるフォロー面談を実施。
- ④相談体制として、産業医・保健師による対応の他、外部機関の相談窓口を設置。

▶▶ 長時間労働対策

労使による専門委員会を通じ幅広く協議を進め、業務の効率化を推進するとともに、時間外労働の削減、有給休暇取得促進について全社で取り組んでいます。

また、長時間労働者が発生した場合は、本人・上司に対して実態調査をするとともに、該当する従業員に対して「疲労蓄積度チェック」を行い、必要に応じて産業医・保健師が面談を行うなど、健康面の配慮を行っています。

▶▶ 健康管理意識の向上

2018年7月に企業を通じてがん予防知識等の普及を図る広島県の取り組みである「Team(チーム)がん対策ひろしま」に企業登録を行いました。

県内のがん患者支援団体イベント等の周知や「広島県がん検診推進員」研修を開催し、がん検診知識の普及を通じて、従業員の健康管理意識の向上に取り組んでいます。



こくぶ かつひこ
國部 克彦 氏
 神戸大学大学院
 経営学研究科 教授

広島ガスでは2030年ビジョンを作成し、長期的な指針と意欲的な経営目標を示しています。2030年は奇しくもSDGsの目標期間と同じなので、SDGsと連動させる形で目標の達成をめざしてほしいと思います。そのためには社会的な目標の具体的な提示が必要になるでしょう。

また、広島ガスでは、「廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業」など、非常に先進的な取り組みをなされています。エネファームの「発電余剰電力の買い取り」などのきめの細かい対応も評価できます。このような活動を順次拡大することで、地域全体の持続可能な発展に貢献されることを期待しています。

今期からは連結財務データも掲載し、IR報告書としての内容を充実されています。今後は、財務KPI(重要業績評価指標)と社会や環境に関する非財務KPIの一覧性のある開示をされると、ESG投資にはより有効に情報発信できるようになると思います。

最後に将来の課題としてリスク情報の開示があります。気候変動を中心にリスクと機会に関する情報開示は世界的に推進すべきとされています。広島ガスでもこのような動きに対応していく必要性が高まると予想されますので、早めの対応をおすすめします。

広島ガスのCSR活動は地域のモデルとなるものです。これからも企業の社会的責任を十分果たしていかれることで、地域の活性化を促進してほしいと思います。



みやた あきみのり
宮田 明典 氏
 社会福祉法人
 広島市社会福祉協議会
 ボランティア情報センター
 所長

共に地域に寄り添いながら

国においては、子ども・高齢者・障がい者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、地域の生活課題を“我が事”としてとらえ、“丸ごと”受け止める包括的な支援体制の構築を進めています。

本会では、これらの状況を踏まえ、2017年度に広島市社会福祉協議会地域福祉推進第8次3か年計画を策定し、計画の着実な実施を図っています。

さらに、2014年8月や2018年7月の豪雨災害対応などの教訓を生かし、災害ボランティア活動への参加意識の醸成と支援体制の整備にも取り組んでいます。

広島ガスは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、文化とスポーツの振興に大きな役割を果たし、さらに子どもの可能性を広げる次世代教育プログラムも実施されています。また、災害時の復旧対策拠点として、新たに「広島ガス防災センタービル」を竣工し、会社全体の事業継続機能を高めておられます。今後もこのまちに住む「ひと」と「くらし」に寄り添ったサービスを展開し、広島になくてはならない企業であり続けてほしいと思います。

広島に住んで良かったと思えるような地域づくりの実現に向けて、連携・協働していただきたいと思っています。



やまだ ゆうき
山田 祐樹 氏
 坂町立坂中学校 校長

地域に密着した企業であり続けることに期待しています。

坂町では、町をあげて大雨土砂災害や地震津波災害を想定しての避難訓練を毎年実施しています。地域の避難所に指定されている坂中学校でも、独自に避難所の開設訓練や小さな子どもたちの避難誘導訓練を行うなどして、生徒達は「守られる立場から、守る立場へ」との意識を高めてきました。

昨年7月、ちょうど防災訓練の準備を進めていた時期に、西日本豪雨が地域を襲いました。甚大な被害を受けた坂町では、各地の避難所で多くの方々が避難生活を余儀なくされました。坂中学校でも1ヵ月半にわたり、避難所として多くの方々を受け入れました。その際、ガスが使用できることをとても感謝されたことで、温かいお風呂がどんなに幸せなことか、あらためて気づかされました。日頃当たり前だと思っている電気やガス、水道などライフラインを守る重要性を知った今、広島ガスには防災対策への取り組みをますます強化し、これまで以上に災害に強い街づくりを推進していただくよう願っています。

また、坂中学校は、各種運動部や吹奏楽部などの部活動も盛んで、こうしたことを通して、生徒達の心身の育成をはかっています。その一環として昨年11月、広島ガス所属のスノーボードアルペン選手 竹内智香さんをお招きし「未来を拓くスピリット」をテーマに2時間の授業をしていただきました。常にポジティブに前へ、前へと道を切り拓いてこられた竹内選手の話は、生徒達の将来に大いなる元気や勇気を与えてくれました。

これからも広島ガスには、エネルギーインフラとして地域を支えるだけでなく、スポーツや文化活動を支援することで、地域やそこに住む人の暮らしをもっと輝かせていただけるよう期待しています。

広島ガスの概要

1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初のガス事業者となりました。以来、100年以上にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内7市とその周辺地域の412千戸のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスを主な原料とした都市ガスをお届けしています。

本社所在地／広島市南区皆実町2丁目7-1
TEL 082-251-2151(代表)

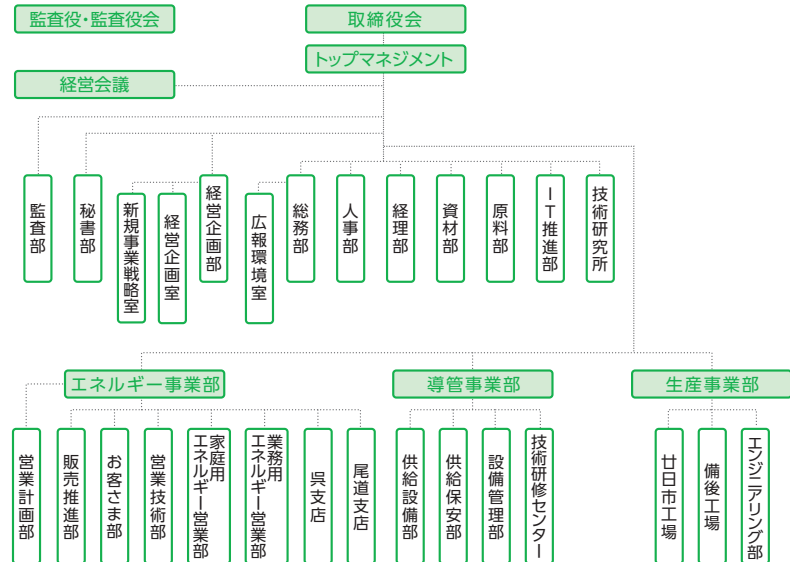
創 立／1909年10月
資 本 金／51億8千1百万円
従 業 員 数／661名
事 業 内 容／①ガス事業
②ガス器具の販売
③液化天然ガスの販売
(2019年3月31日現在)



広島ガス防災センタービル(左)、広島ガス本社(右)

■ 組織図

(2019年4月1日現在)



◎地域のサービス窓口

■ ガスショップ

(ガスショップ 営業時間) 9:00～19:00(月～土) ※三原店は9:00～17:30(月～金)

1 ガスショップ 安芸店	広島市安芸区船越南3丁目1-14 TEL 082-821-1055	8 ガスショップ 高陽店	広島市安佐北区落合南1丁目3-10 TEL 082-842-4433
2 ガスショップ 宇品店	広島市南区宇品神田2丁目12-19 TEL 082-253-1261	9 ガスショップ 呉店	呉市中央1丁目6-16 TEL 0823-23-5050
3 ガスショップ 五日市店	広島市佐伯区海老園2丁目7-43 TEL 082-922-3670	10 ガスショップ 尾道店	尾道市天満町3-2 TEL 0848-22-4378
4 ガスショップ 古江店	広島市西区古江新町6-4 TEL 082-272-0050	11 ガスショップ 三原店*	三原市城町2丁目7-5 TEL 0848-62-7108
5 ガスショップ タカノ橋店	広島市中区大手町5丁目10-19 TEL 082-243-7520	12 ガスショップ 可部店	広島市安佐北区亀山9丁目13-7 TEL 082-814-3322
6 ガスショップ 白島店	広島市中区東白島町17-17 TEL 082-228-1000	13 ガスショップ 西条店	東広島市西条御条町4-38 TEL 082-493-8801
7 ガスショップ 祇園店	広島市安佐南区西原5丁目13-1 TEL 082-850-3505		

■ ショールーム

最新ガス機器を体感いただき、
温かなガスのある暮らしへ

体感・展示設備(一例)

- 家庭用燃料電池
(エネファーム)
- 床暖房・浴室暖房
比較体感ルーム
- ミストサウナ体感ルーム
- ためして! キッチン
(厨房比較)
- 太陽光発電
- リフォーム商材

●ガストピアセンター



広島市中区南竹屋町1-30
TEL.082-240-8888

●ガストピア安芸



広島市安芸区船越南3丁目1-14
TEL.082-821-1130

●ガストピア五日市



広島市佐伯区海老園2丁目7-43
TEL.082-923-5678

●ガストピア呉



呉市中央1丁目6-16
TEL.0823-22-1262

●ガストピア祇園



広島市安佐南区西原5丁目13-1
TEL.082-850-3506

●ガストピアおのみち



尾道市天満町3-2
TEL.0848-22-2161

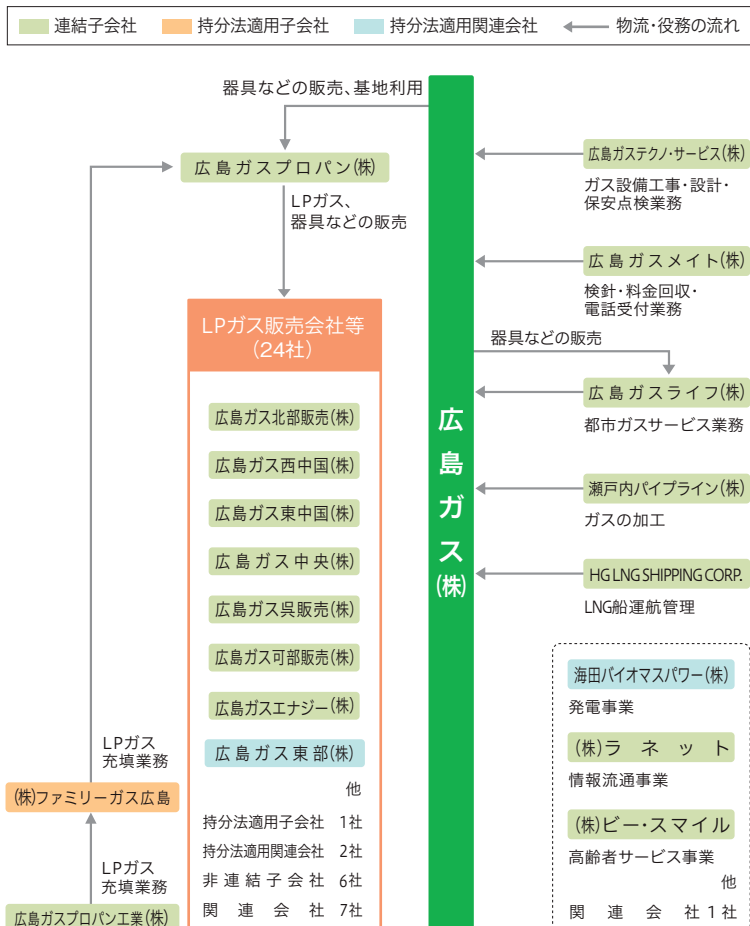
広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(広島ガス、子会社24社および関連会社12社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。



■ 事業系統図 (2019年3月31日現在)

広島ガス株を中心に子会社・関連会社を含めて37社で構成されています。



■ 主な子会社の概要 (2019年3月31日現在)

広島ガスプロパン株式会社
 資本金/3億円 設立/1969年3月
 売上高/11,145百万円 従業員数/88名

広島ガステクノ・サービス株式会社
 資本金/8千万円 設立/1998年6月
 売上高/10,064百万円 従業員数/204名

広島ガスメイト株式会社
 資本金/2千万円 設立/1975年4月
 売上高/951百万円 従業員数/165名

広島ガスライフ株式会社
 資本金/1.5千万円 設立/2018年6月
 売上高/2,030百万円 従業員数/157名

株式会社ラネット
 資本金/3千万円 設立/2000年10月
 売上高/259百万円 従業員数/6名

株式会社ビー・スマイル
 資本金/5千万円 設立/2001年6月
 売上高/190百万円 従業員数/28名

瀬戸内パイプライン株式会社
 資本金/1億5千万円 設立/2003年5月
 売上高/995百万円 従業員数/9名

HG LNG SHIPPING CORPORATION
 資本金/1百万円 設立/2005年2月
 売上高/3,488百万円



〒734-8555 広島市南区皆実町2丁目7-1
広島ガス株式会社 総務部 広報環境室
☎082-252-3154 (直通)

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

広島ガスCSR報告書 2019 2019年7月発行

《表紙デザイン》



このまちから感動発信!

街並みの上に架かる虹の橋は「このまち思い」の象徴です。

虹の上で手をつなぎ、微笑む子どもたちは、このまちのエネルギーを使って、幸せにつながる「喜び」「感動」「安心」の種を発信していきたいとの願いをイメージしています。



このレポートの印刷する際の電力300kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。